

県立歴史館電灯設備改修工事

図面目録

番 号	図面名称	縮 尺 A 1	番 号	図面名称	縮 尺 A 1
E-00	表紙・図面目録	-	E-18	トイレ電灯設備図	1:50
E-01	特記仕様書（その1）	-	E-19	1階足場・作業台（参考図）	1:200
E-02	特記仕様書（その2）	-	E-20	2階足場・作業台（参考図）	1:200
E-03	案内図、配置図、外構図	1:400	E-21	1階仮設計画図（参考図）	
E-04	現場説明事項・施工条件明示事項（1階）	1:200	E-22	2階仮設計画図（参考図）	1:200
E-05	現場説明事項・施工条件明示事項（2階）	1:200	E-23	仕上表（参考）	1:200
E-06	照明姿図（1）	-			-
E-07	照明姿図（2）	-			
E-08	電灯設備 1階 改修平面図	1:200			
E-09	電灯設備 1階 撤去平面図	1:200			
E-10	電灯設備 2階 改修平面図	1:200			
E-11	電灯設備 2階 撤去平面図	1:200			
E-12	電灯設備 2階企画展示室 改修平面図	1:50			
E-13	企画展示室 調光設備 明細・系統図	-			
E-14	非常照明・誘導灯設備 1階 改修平面図	1:200			
E-15	非常照明・誘導灯設備 1階 撤去平面図	1:200			
E-16	非常照明・誘導灯設備 2階 改修平面図	1:200			
E-17	非常照明・誘導灯設備 2階 撤去平面図	1:200			

長野県県民文化部

有限会社 N 設 計

県立歴史館電灯設備改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所	千曲市大字屋代260-6						
2. 敷地面積 (㎡)	19,500㎡						
3. 工事種目	照明器具更新工事						
建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
本館		RC造	2			6702.35㎡	10,456.98㎡
4. 工事内容							
既存照明器具のLED化工事（展示に係る特殊照明器具を除く）							
5. 工事範囲							
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。							
※「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。							

工事種目	照明器具更新工事				
2 仮設工事	○				
3 防水改修工事	×				
4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁	×				
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	×				
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	×				
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	×				
5 建具改修工事	×				
6 内装改修工事	×				
7 塗装改修工事	×				
8 耐震改修工事	×				
9 環境配慮改修工事	×				

II. 管理技術者等

設計事務所名 有限会社 エヌ設計	管理技術者 西澤 重門
主任担当技術者	担当技術者
意匠担当 有限会社エヌ設計 西澤 重門	
積算担当 有限会社エヌ設計 西澤 重門	
電気担当 松井設計 松井 重憲	

III. 建築改修工事仕様

- (1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○をつけたものを適用する。
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）（以下、「標準仕様書」という。）
 - 建築工事標準詳細図（最新版）（以下「標準詳細図」という。）
 - 建築物解体工事共通仕様書（最新版）
 - 敷地調査共通仕様書（最新版）
 - 建築構造設計基準（最新版）
 - 工事写真の撮り方 建築編（最新版）
 - 公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
 - 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編） 国土交通大臣官房技術調査課・土地・建設産業局建設業課
 - 公共建築木造工事標準仕様書（最新版）
 - 長野県建設リサイクル推進指針 長野県建設部

- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事を含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 項目は、○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
 - ・印のみの場合は適用しない。
 - 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - ☒印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品に関する判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章 項 目 特 記 事 項

1 各章共通事項	<p>1. 適用区分</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 風圧力 風速 (Vo= m/s) 地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ) 積雪荷重 <p>平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ()</p>
2 工事実績情報の登録	※ 適用する ・ 適用しない [1.1.4]
3 電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない [1.3.3]
4 施工条件明示事項	○「現場説明事項・施工条件明示事項」による ※本ページ右下及びA-01参照 [1.3.5]
5 環境への配慮	(1.4.1)[1.4.1]
6. 材料の品質等	(1.4.2)[1.4.2]
7. 石綿含有建材の調査	[1.5.1]

調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソファライト、クリソタイト、クロシドライト、トシモライト

分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2)	JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4) または (JIS A 1481-5)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)
・ (箇所)	・ (箇所)	・ (箇所)

サンプル数 1箇所あたり3サンプル

採取箇所

・ 示による ()

8. 施工数量調査

調査範囲及び調査方法 ※ 示 () [1.6.2]

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※ 示 () [1.6.3]

9. 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

13. 完成図等	<p>※ 作成する (1.7.1~1.7.3) (表1.7.1)</p> <p>※ 完成図 (※ 設計図書で示したものでなく、標準仕様1.7.2による) ・ 監督員の指示による</p> <p>作成方法 ・ 原図 用紙 (・ トレーシングペーパーA1) ・ 作成方法 (※ CADで作成し出力)</p> <p>※ 製本 (原図の白焼き、見開きA1版 (1部))</p> <p>※ CADデータ (※ CD-R (2部))</p> <p>※ 保全に関する資料 (2部)</p> <p>下記のものを監督職員へ提出する。原図は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撮影部位及び箇所数</th> <th>分類・規格</th> <th>提出部数</th> <th>画素数及び画質等</th> <th>撮影者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外観正面 : ()箇所</td> <td>・ 電子データ (JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)</td> <td>※ 2部</td> <td>4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの</td> <td>建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者</td> </tr> <tr> <td>上記と異なる外部 : ()箇所 内部 : ()箇所</td> <td>・ カラー印刷紙キャビネ版 アルバム綴じ</td> <td>※ 2部</td> <td>1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>アルバムは、黒表紙金文字入り、サイズはH320×D300程度とする。</p>	撮影部位及び箇所数	分類・規格	提出部数	画素数及び画質等	撮影者	外観正面 : ()箇所	・ 電子データ (JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)	※ 2部	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者	上記と異なる外部 : ()箇所 内部 : ()箇所	・ カラー印刷紙キャビネ版 アルバム綴じ	※ 2部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質																	
撮影部位及び箇所数	分類・規格	提出部数	画素数及び画質等	撮影者																												
外観正面 : ()箇所	・ 電子データ (JPEGフルカラー ・ 圧縮率1/4程度)	※ 2部	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者																												
上記と異なる外部 : ()箇所 内部 : ()箇所	・ カラー印刷紙キャビネ版 アルバム綴じ	※ 2部	1280×960ピクセル以上かつ、撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質																													
14. 完成写真	<p>1. 騒音・粉じん等の対策 [2.1.3]</p> <p>○ 足場等 [2.2.1][表 2.2.1]</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、岡ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ 示による ()) 設置しない <p>防護シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置する (設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ 示による ()) 設置しない <p>内部足場</p> <p>○設置する (※組立、足場板等 ())</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置しない <p>材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種)</p> <p>C種：利用可能なエレベーター (・ 示による ())</p> <p>D種：利用可能な階段 (・ 示による ())</p>																															
○ 既存部分の養生	<p>養生方法等 [2.3.1]</p> <p>○既存部分</p> <p>養生方法 (※ビニルシート、合板等 ・ 合板+防炎シート)</p> <p>○既存家具、既存設備等</p> <p>養生方法 (※ビニルシート等 ())</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存フラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニルシート等 ()) 保管場所 (・ 示による ()) <p>○固定された備品、机、ロッカー等の移動</p> <p>・ 示による ※工事に支障となる範囲</p> <p>既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p>																															
4. 仮設間仕切り	<p>仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2.3.2][表 2.3.1]</p> <p>・ 示による ・ 既存防火扉利用 ()</p> <p>仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ (厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td>・ せっこうボード 種類 (()) 厚さ (・ mm ※9.5mm)</td> <td>・ 無し ・ 片面</td> <td>グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・ 合板 材種 (()) 厚さ (・ mm ※9mm)</td> <td>・ 無し ・ 片面</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> <th>グラスウール貼り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・ 無し</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ 片面</td> <td>・ 示による ()</td> <td>・ 無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>グラスウール貼り ※グラスウール32k (厚50mm以上)</p>	種別	仕上げ (厚さmm)	塗装	充填材	・A種	・ せっこうボード 種類 (()) 厚さ (・ mm ※9.5mm)	・ 無し ・ 片面	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上	・B種	・ 合板 材種 (()) 厚さ (・ mm ※9mm)	・ 無し ・ 片面	・ 無し	※C種	防炎シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	グラスウール貼り	※木製	※合板張り程度	・ 無し	・ 箇所	・ 有り	・ ()	・ ()	・ 片面	・ 示による ()	・ 無し
種別	仕上げ (厚さmm)	塗装	充填材																													
・A種	・ せっこうボード 種類 (()) 厚さ (・ mm ※9.5mm)	・ 無し ・ 片面	グラスウール 32k ※厚さ 50mm以上																													
・B種	・ 合板 材種 (()) 厚さ (・ mm ※9mm)	・ 無し ・ 片面	・ 無し																													
※C種	防炎シート																															
材質	仕上げ	塗装	設置箇所	グラスウール貼り																												
※木製	※合板張り程度	・ 無し	・ 箇所	・ 有り																												
・ ()	・ ()	・ 片面	・ 示による ()	・ 無し																												
5. 監督員事務所	<p>・ 設ける ※ 設けない [2.4.1]</p> <p>規模 ※ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 () ㎡程度</p>																															
○ 工事用水	<p>構内既存の施設 ○ 利用できる (☑ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない [2.4.1]</p> <p>※現場事務所周辺には水道がない事に留意</p>																															
7. 工事用電力	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ※ 利用できない [2.4.1]</p>																															

9 環境配慮改修工事	<p>○ 石綿含有建材の除去工事</p> <p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 除去による 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・ 石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) の除去 除去対象範囲 除去による 除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外) の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 示による ○1階風除室 (2) 天井材「穴開け」 除去した石綿含有成形板の処分 ○石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種) の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 示による ○男女便所 (B) (E) (F) 天井材「穴開け、点検口新設」 隔離養生 (負担不要) 方法 ○ビニルシート等による養生を行う () 足場 ・ 示による ○脚立足場程度 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ○埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 石綿含有仕上げ塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 除去対象範囲 ・ 示による 着工前の試験施工 ※行う ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン工法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ・ 剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度) ・ 剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上) ・ 超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用) <p>養生方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除去した石綿含有仕上げ塗材の処分 ・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 示による ○天井点検口においては同様の新材にて補完
------------	---

県立歴史館電灯設備改修工事

I 工事概要

1 工事場所 長野県千曲市屋代260ー6

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防施設法令 別表第一の区分	備 考
本館棟	RC	2	10456.98	(B)項	

3 工事種目 ●印を付けたものを適用する。

工事種目	項目	建物別及び屋外			
		本館棟			
電灯設備		●一式			
動力設備	幹線、分岐	○一式			
電熱設備		○一式			
雷保護設備		○一式			
変電設備		○一式			
電力貯蔵設備		○一式			
静止形電源設備	直流電源装置	○一式			
発電設備		○一式			
構内情報通信設備	LAN用配管	○一式			
構内交換設備	電話設備	○一式			
情報表示設備	時計設備	○一式			
映像・音響設備		○一式			
拡声設備		○一式			
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	○一式			
テレビ共同受信設備		○一式			
監視カメラ設備		○一式			
駐車場管制設備		○一式			
防犯・入室管理設備	予備配管	○一式			
自動火災報知設備		○一式			
自動閉鎖設備		○一式			
非常警報設備	非常放送装置	○一式			
ガス漏れ警報設備		○一式			
中央監視制御設備		○一式			
構内配電線路		○一式			
構内通信線路		○一式			
昇降機設備		○一式			

II 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
有限会社 N設計	西澤 重門

主任担当技術者	担当技術者
委託担当	
有限会社 N設計 西澤 重門	
構造担当	
積算担当	
有限会社 N設計 西澤 重門	
電気設備担当	
松井設計 松井 重彦	
機械設備担当	

III 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁事務部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(令和4年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工編)(令和4年版)」(以下、「標準図」という。))による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を通ずる。

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項																				
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。																				
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 <table border="1"><thead><tr><th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr></thead><tbody><tr><td>● 電気錠</td><td></td></tr><tr><td>○ その他、監督員の指示によるもの</td><td></td></tr></tbody></table> <ol style="list-style-type: none">品質及び性能に関する試験データが整備されていること。生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。安定的な供給が可能であること。法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。製造または施工の実績があり、その信頼性があること。販売、保守等の営業体制が整えられていること。	材料・機材名	材料・機材名	● 電気錠		○ その他、監督員の指示によるもの															
材料・機材名	材料・機材名																				
● 電気錠																					
○ その他、監督員の指示によるもの																					
3 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none">合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上がり塗材及び紙張は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを放散しないものは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 <table border="1"><thead><tr><th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr></thead><tbody><tr><td>○</td><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</td></tr><tr><td>●</td><td>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</td></tr><tr><td>○</td><td>③下記表示のあるJAS規格品</td></tr><tr><td>a</td><td>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</td></tr><tr><td>b</td><td>接着剤等不使用</td></tr><tr><td>c</td><td>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</td></tr><tr><td>d</td><td>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td></tr><tr><td>e</td><td>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</td></tr><tr><td>f</td><td>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td></tr></tbody></table> <ol style="list-style-type: none">JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品旧JISのE〇規格品旧JASのF〇〇規格品	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	○	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品	●	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品	○	③下記表示のあるJAS規格品	a	非ホルムアルデヒド系接着剤使用	b	接着剤等不使用	c	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用	d	ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	e	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用	f	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料																				
○	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品																				
●	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																				
○	③下記表示のあるJAS規格品																				
a	非ホルムアルデヒド系接着剤使用																				
b	接着剤等不使用																				
c	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用																				
d	ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																				
e	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用																				
f	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																				
⑤ 施工条件明示項目	○公共建築工事積算基準の解説(設備工編)の「執務並行改修」工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。																				
⑥ 電気工事士	契約電力500kWh以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。 <ol style="list-style-type: none">実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。																				
⑦ 使用材料発注先調査書	使用材料名、製造業者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査書を作成し、監督員の承諾を受ける。																				
⑧ 発生材の処理	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査書を作成し提出する。 <ol style="list-style-type: none">引渡しを要するもの ○無 ・有 ()引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。特別管理産業廃棄物 ・無 ○有 (POB使用機器:関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有 (・産業光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属類・ダンボール類)																				
⑨ 監督員事務所	○設けない ・設ける(規模:) ・備品()																				
⑩ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・できない																				
⑪ 足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等(・架台足場 ○移動式足場 ○移動式室内足場 ・外部足場 (・A種【施工箇所面に特設足場を設ける。】 ・B種【施工箇所面に単管本足場を設ける。】 ・C種【仮設ゴンドラを使用する。】 ○種【移動式足場を使用する。】)																				
⑫ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。																				

項目	特記事項																																																											
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																											
⑭ しゅん工事提出物	標準仕様書及び別表による。																																																											
16 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																											
⑮ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」・監修(独)建築研究所)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 <ol style="list-style-type: none">設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">・一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階、屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="4">中間階</td><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="2">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td></td><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> (※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。 ○重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ○上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)第1編第2章第12節による。 確認試験は、性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度□kNにて行う。 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。<ol style="list-style-type: none">EM-EEF は紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「付加付」EM-EEF」と表記されたものを使用する。EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。(E-12参照)埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。	設置場所	機器種別	○特定の施設		・一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		・一般の施設																																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																							
中間階	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																							
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
18 あと施工アンカー	公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)第1編第2章第12節による。 確認試験は、性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度□kNにて行う。 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 <ol style="list-style-type: none">EM-EEF は紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「付加付」EM-EEF」と表記されたものを使用する。EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。(E-12参照) 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																											
19 防火区画等の貫通処理																																																												
⑯ 電線・ケーブル	(1) EM-EEF は紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「付加付」EM-EEF」と表記されたものを使用する。 <ol style="list-style-type: none">EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。(E-12参照) 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																											
21 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																											
22 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。																																																											
23 金属製電線管の塗装	○屋外 ・屋内()																																																											
24 埋め戻し土	・A種【山砂の類、水締め、機器による締固め】 ○B種【根切り土中の良質土、機器による締固め】 ・C種【地現場の建設発生土の中の良質土、機器による締固め】 ・D種【再生コンクリート砂、水締め、機器による締固め】 ・配管下部は50mm以上、上部は100mm以上、砂を用いて締固めこと。 ・境外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し																																																											
25 建設発生土の処理	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製																																																											
26 ケーブル埋設票	(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。 (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を塗装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。																																																											
27 ブルボックス	壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。																																																											
28 フラッシュプレート	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																																											
29 プレーートの用途表示	○測定場所: ・各室(測定箇所数 5箇所) ・廊下 ・階段 用途: ○非常用照明 ・一般照明																																																											
30 配線器具	・学校施設における室内照度測定(測定教室: 個所、測定黒板面: 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板黒面9か所で測定する。																																																											
31 機器への接続	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																																											
⑳ 照度測定	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・ () <建設機器> ・排ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(令和4年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																																											
33 盤類	保護等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)																																																											
34 グリーン購入の推進	・本工事は施設運営中の工事のため、作業時間・作業場所・工事騒音等について事前に建物関係者・関係部署と充分な打合せのうえ施工すること。 ・事前に仮設計画・機器更新順序の作業計画を作成し、監督者の承諾を受けること。 ・実施日は建物管理者・関係部署と日程調整を行うこと。 ・停電、設備の機能停止を伴う作業は短期間で作業完了できるように考慮し作業計画を行い、その内容について建物管理者・関係部署へその旨を説明し工程調整を行うこと。 ・資材の搬入路は養生を実施すること。作業エリア周囲の床、壁の養生を行い、作業終了後は清掃を行うこと。 ・既存構造物及び設備、展示物エリアの既存展示物は養生を行い傷をつけないよう注意し、万一破損した場合は速やかに減速復旧すること。 ・照明器具等の機器更新後、必要に応じて器具周囲の補修や塗装を行うこと。 ・安全対策については、現場状況に応じて適切な方法を選択し、事前の計画(補修箇所)を行い、事前の計画(補修箇所)を行い、事前の計画(補修箇所)を行い、事前の計画(補修箇所)を行うこと。 ・撤去した照明器具のPOB含有について確認し監督者及び建物管理者へ報告すること。 ・工事車両駐車場及び資材置き場については関係者と協議の上決定し工事完了後は速やかに復旧すること。																																																											
⑳ 他																																																												

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印の付いたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
1 完成図	5 機器完成図
・ 原図(A1版 ケース入り)	6 工事写真
○ 隣面(A1版 2つ折り製本 1部)	7 完成写真
○ CADデータ(jww及びpdf形式)	8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書)
・	9 機材の試験成績書
2 設計図	10 施工の試験成績書
○ CADデータ	11 社内試験成績書
	12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、フロー図)
3 引渡書	13 納入品一覧表
4 納入品	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
○ 予備品 ○ 盤類の鍵	15 保全に関する資料(取扱説明書も含む)
○ ハンドホールフック、ジャッキ	

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール(寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準のものとする。
・ハンドホールにブロックアウト部分を取付けてはならない。
・配管貫通部は、原則として径φ75mm(F=18N/mm以上)とし、差し筋D10タテφ200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にハンドホール製作図を提出して承諾を受けて施工する。

・	ハンドホール No.ー	1,500×1,500×1,600D	底部 GL-1,740以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	1,200×1,200×1,600D	底部 GL-1,700以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,400D	底部 GL-1,600以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,100D	底部 GL-1,300以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×900D	底部 GL-1,060以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	900×900×1,100D	底部 GL-1,260以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		
・	ハンドホール No.ー	900×900×900D	底部 GL-1,060以上 蓋 WPM-60A (Eマーク入)		(既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	600×600×680D	蓋 WPM-60A (Eマーク入)		(既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	450×450×680D	蓋 WPM-45B (Eマーク入)		※積載等車両の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

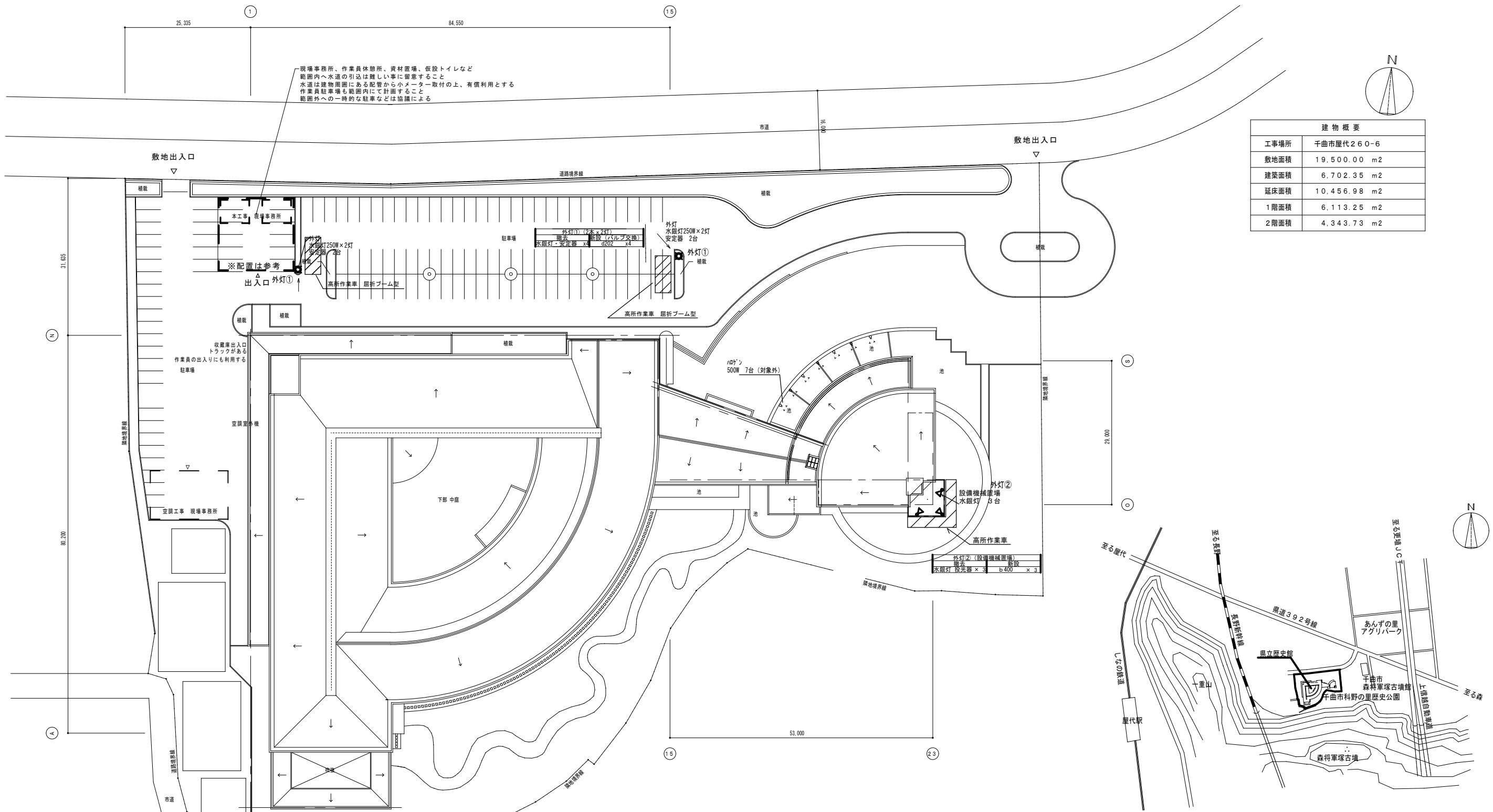
・	A種接地	銅板1.5t×900×900	補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 縦埋埋戻中心深さ 2m	埋設極(黄銅製又はステンレス製)	
・	B種接地	銅板1.5t×600×600	補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 縦埋埋戻中心深さ 2m	埋設極(黄銅製又はステンレス製)	
・	C種接地	銅板1.5t×300×300	補助接地棒(連結式10φ×1,500) リード端子付 縦埋埋戻中心深さ 1.5m	埋設極(黄銅製又はステンレス製)	
・	D種接地	接地棒(10φ×1,600)	リード端子付 打ち込み式埋設極(黄銅製又はステンレス製)		

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合は監督員との協議による。

名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)	
共 通	取引用計器	地上～上端 2,000	時計	壁掛形時計	床上～中心 1,500	
	引込閉器	床上～上端 1,800			子時計	(上端1,900以下)
	警報盤	床上～中心 1,500			壁掛形スピーカー	(天井高)×0.9
電	分電盤	床上～中心 1,500	表 示	アツチネーター	1,300	
		(上端1,900以下)			表 示 盤	床上～中心 (天井高)×0.9
	タンブラスイッチ	"	1,300	ベ ンチ	1,300	
	"(身障者用)	"	1,100	プ ー	"	
	コンセント(一般)	"	300	ブ ザ ー	"	
	"(和室)	"	150	押 ボ タ ン	"	
	"(便所等)	"	500	"(身障者用押印)	"	
	"(台上)	"	150	身 障 者 用 表 示 灯	"	
	ブラケット(一般)	"	2,100	復 帰 ボ タ ン	2,000	
	"(露出)	"	2,500		1,800	
灯	"(線上)	150	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心 1,500	
遊 離 口 跳 降 灯	床上～下端 1,500以下			壁付位置ボックス	1,100	
廊下通路誘導灯	床上～上端 1,000以下		壁付インターホン(床下)	"		
動	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500	"(和室)	"		
	手元開閉器	"	300		150	
	操作スイッチ・押ボタン	"	1,500			
電	室内端子盤	床上～下端 300	子 び 共 同 受 信 機	機 器 取 寄 箱	床上～中心 (天井高)×0.9	
	(廊下・室内)	"		アウトレット	"	
	中間端子盤	床上～中心 1,500	"(一般)	"		
	集合保安装置	"	300	"(和室)	"	
集約用アウトレットボックス(一般)	"	300	火 災 報 知	受 信 機	床上～操作部 800～1,500	
"(和室)	"	150		副 受 信 機	800～1,500	
				機 器 取 寄 箱	床上～中心 800～1,500	
				発 信 機	800～1,500	
				ベ ンチ	(天井高)×0.9	
				消 火 栓 表 示 灯	(天井高)×0.8	

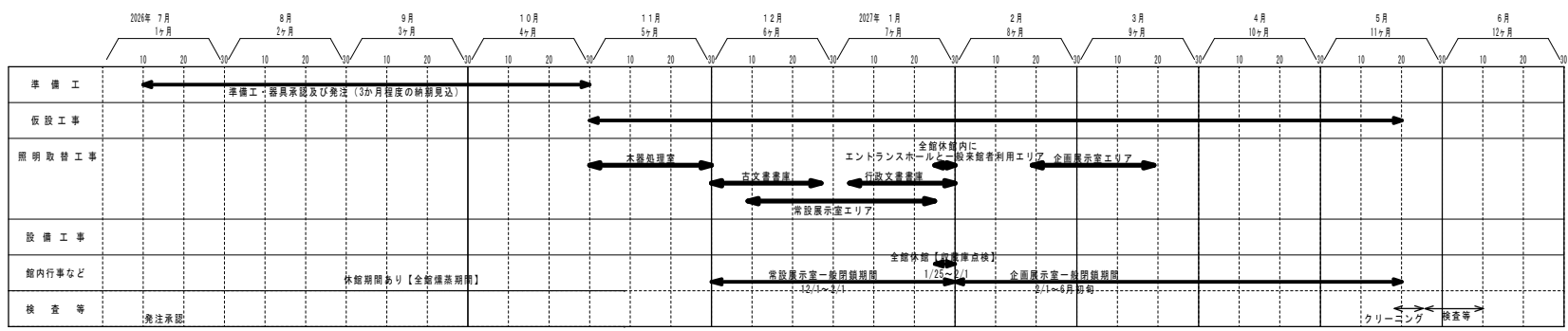
6 定期報告 工事しゅん工後3か月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面(発注機関)あて報告する。
管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。



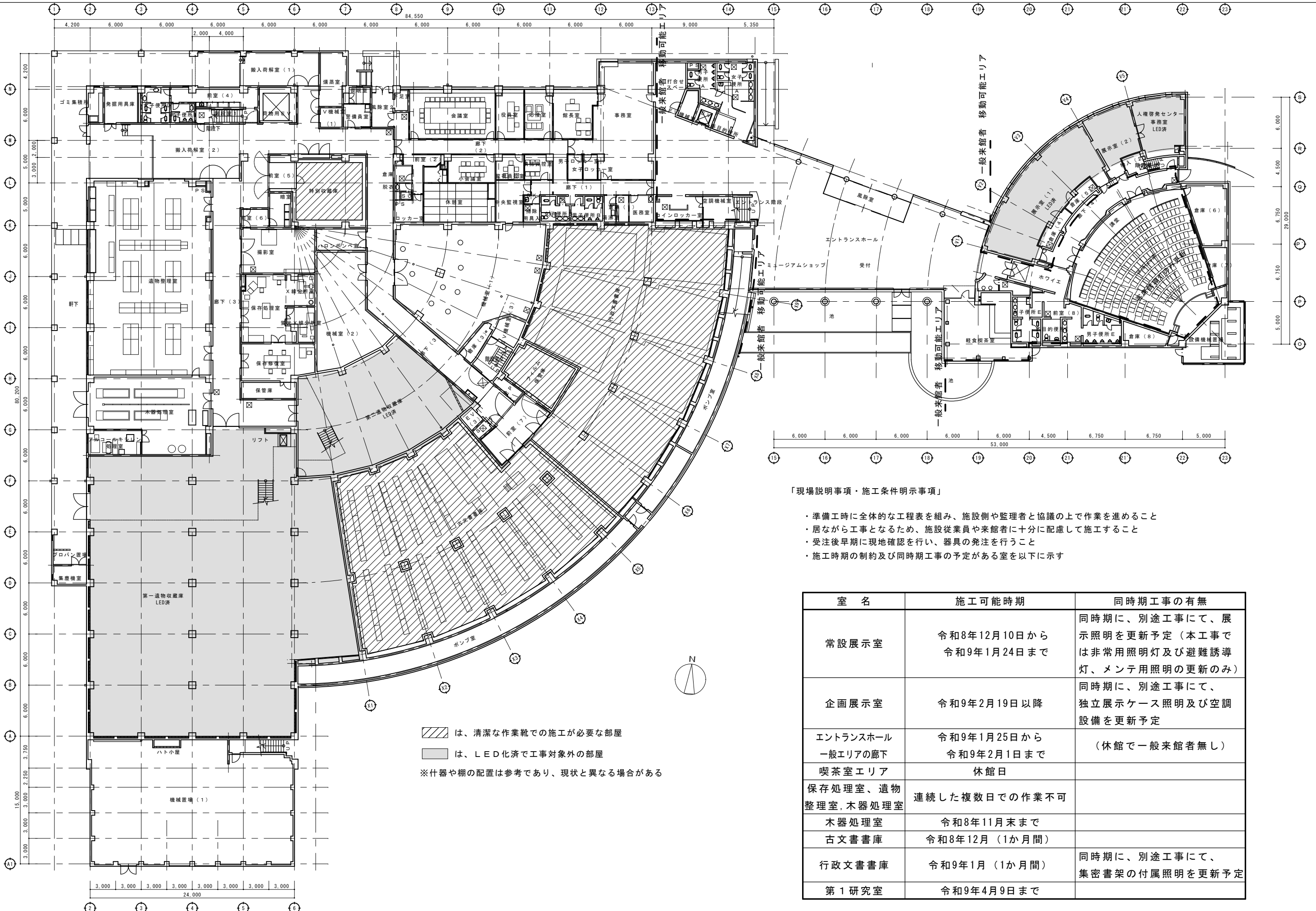
建物概要

工事場所	千曲市歴代260-6
敷地面積	19,500.00 m ²
建築面積	6,702.35 m ²
延床面積	10,456.98 m ²
1階面積	6,113.25 m ²
2階面積	4,343.73 m ²

概略工程表(参考)



案内図

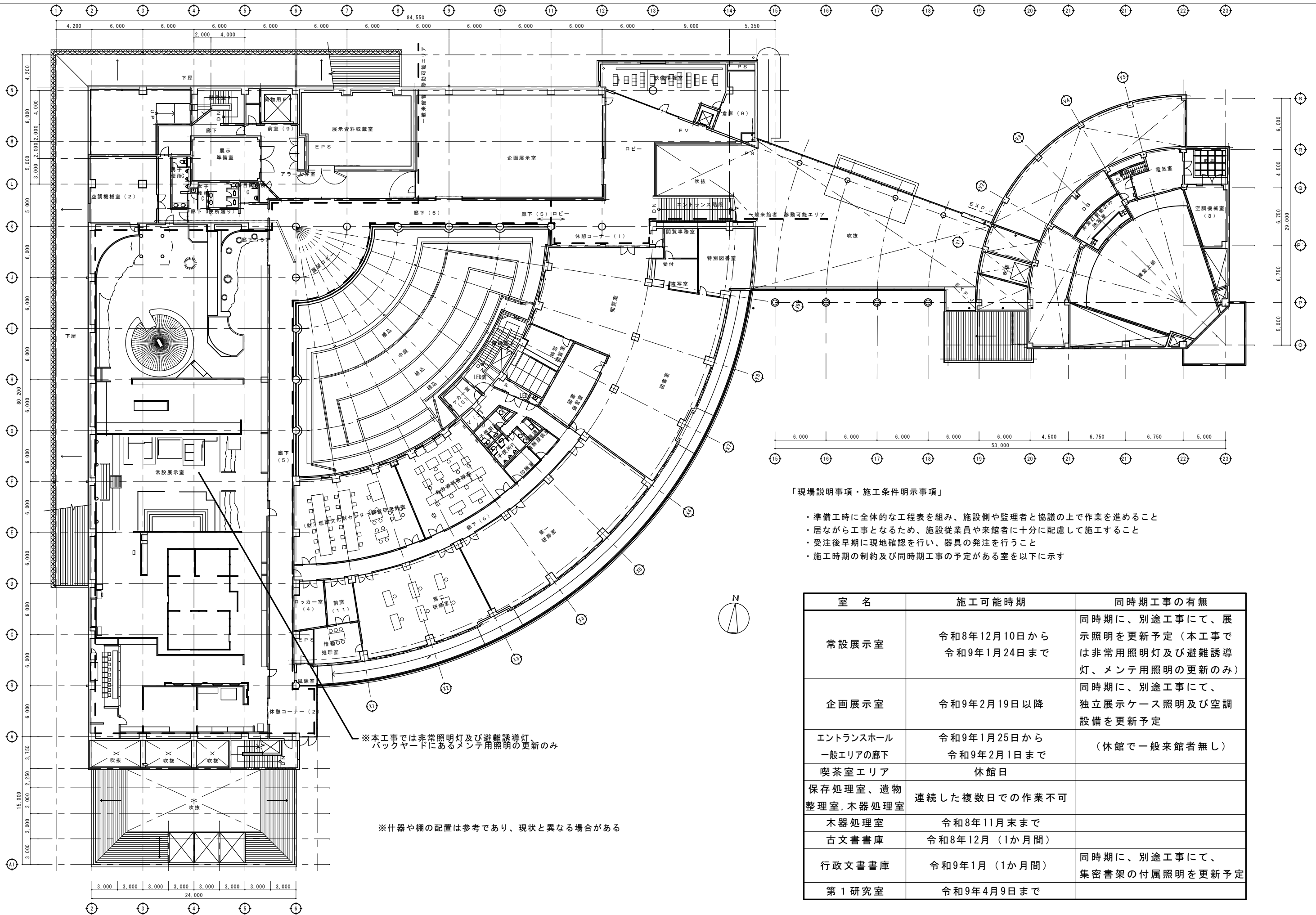


「現場説明事項・施工条件明示事項」

- ・準備工時に全体的な工程表を組み、施設側や監督者と協議の上で作業を進めること
- ・居ながら工事となるため、施設従業員や来館者に十分に配慮して施工すること
- ・受注後早期に現地確認を行い、器具の発注を行うこと
- ・施工時期の制約及び同時期工事の予定がある室を以下に示す

室名	施工可能時期	同時期工事の有無
常設展示室	令和8年12月10日から 令和9年1月24日まで	同時期に、別途工事にて、展示照明を更新予定（本工事では非常用照明灯及び避難誘導灯、メンテ用照明の更新のみ）
企画展示室	令和9年2月19日以降	同時期に、別途工事にて、独立展示ケース照明及び空調設備を更新予定
エントランスホール 一般エリアの廊下	令和9年1月25日から 令和9年2月1日まで	（休館で一般来館者無し）
喫茶室エリア	休館日	
保存処理室、遺物整理室、木器処理室	連続した複数日での作業不可	
木器処理室	令和8年11月末まで	
古文書書庫	令和8年12月（1か月間）	
行政文書書庫	令和9年1月（1か月間）	同時期に、別途工事にて、集密書架の付属照明を更新予定
第1研究室	令和9年4月9日まで	

は、清潔な作業靴での施工が必要な部屋
 は、LED化済で工事対象外の部屋
 ※什器や棚の配置は参考であり、現状と異なる場合がある



「現場説明事項・施工条件明示事項」

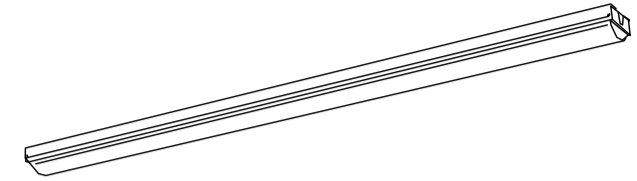
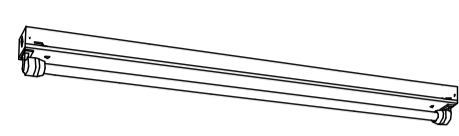
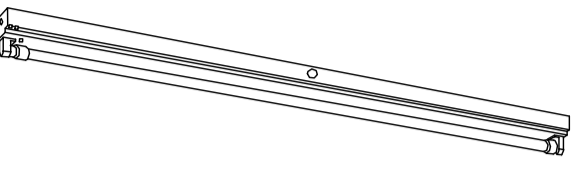
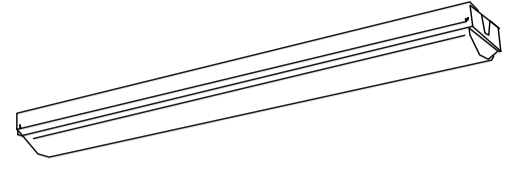
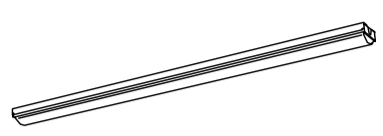
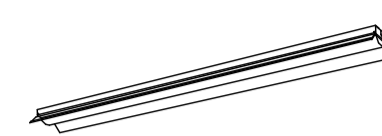
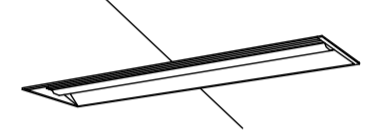

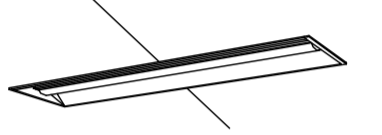
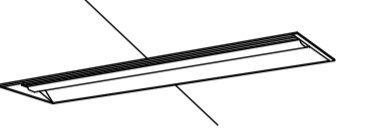
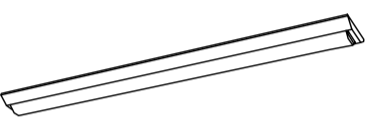
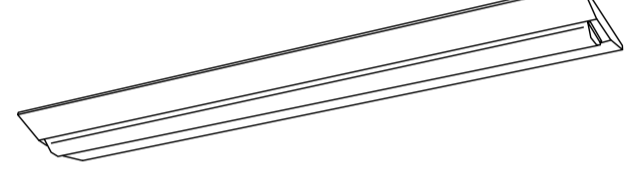
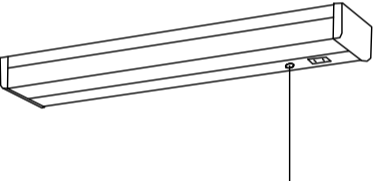
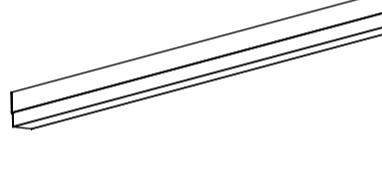
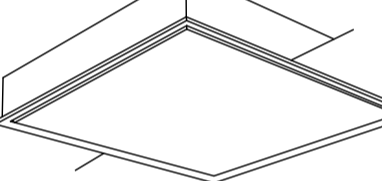
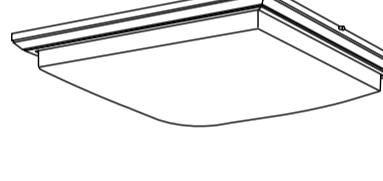
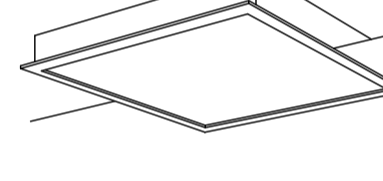
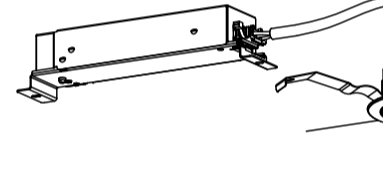
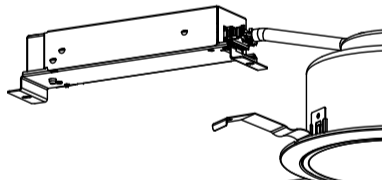
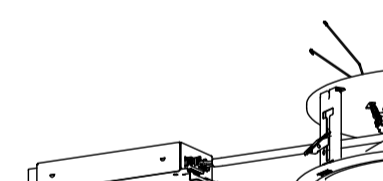
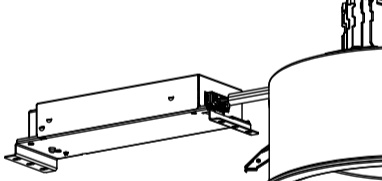
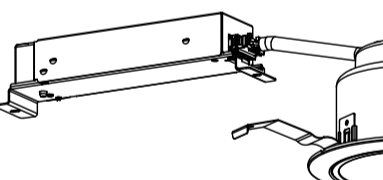
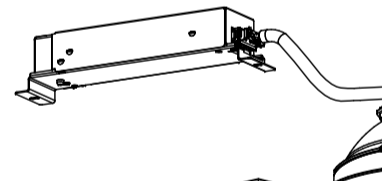
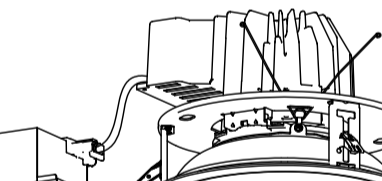

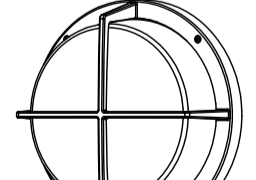
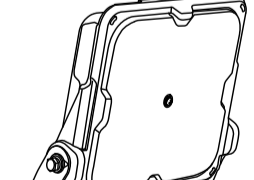
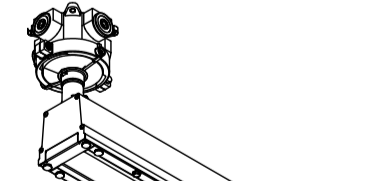
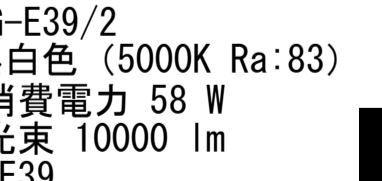
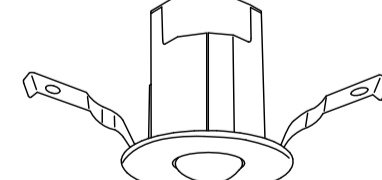
- ・準備工時に全体的な工程表を組み、施設側や監理者と協議の上で作業を進めること
- ・居ながら工事となるため、施設従業員や来館者に十分に配慮して施工すること
- ・受注後早期に現地確認を行い、器具の発注を行うこと
- ・施工時期の制約及び同時期工事の予定がある室を以下に示す

室名	施工可能時期	同時期工事の有無
常設展示室	令和8年12月10日から 令和9年1月24日まで	同時期に、別途工事にて、展示照明を更新予定（本工事では非常用照明灯及び避難誘導灯、メンテ用照明の更新のみ）
企画展示室	令和9年2月19日以降	同時期に、別途工事にて、独立展示ケース照明及び空調設備を更新予定
エントランスホール 一般エリアの廊下	令和9年1月25日から 令和9年2月1日まで	（休館で一般来館者無し）
喫茶室エリア	休館日	
保存処理室、遺物 整理室、木器処理室	連続した複数日での作業不可	
木器処理室	令和8年11月末まで	
古文書書庫	令和8年12月（1か月間）	
行政文書書庫	令和9年1月（1か月間）	同時期に、別途工事にて、集密書架の付属照明を更新予定
第1研究室	令和9年4月9日まで	

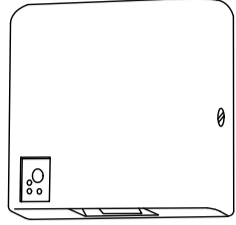
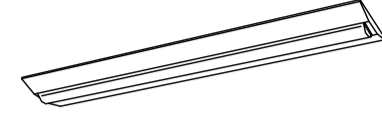
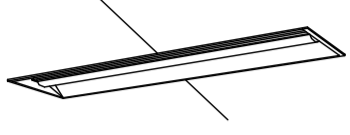
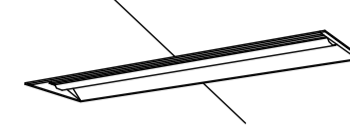
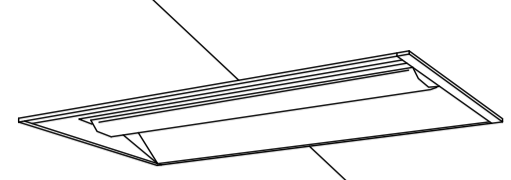
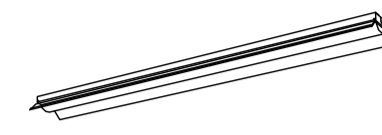
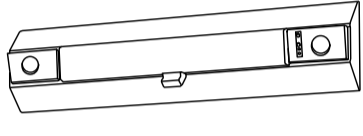
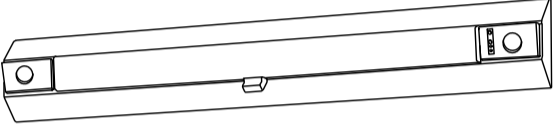
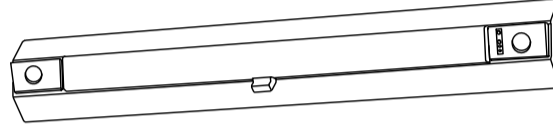
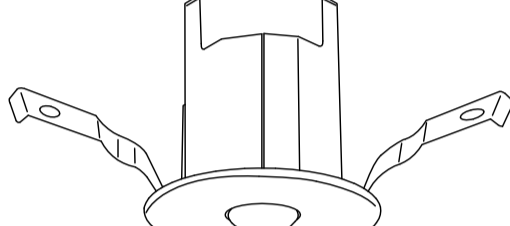
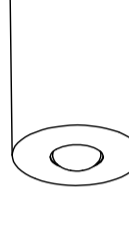

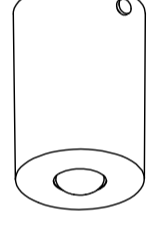
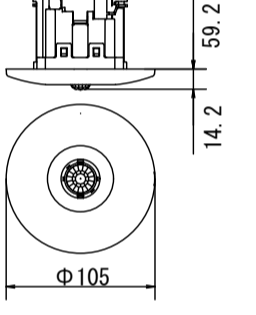
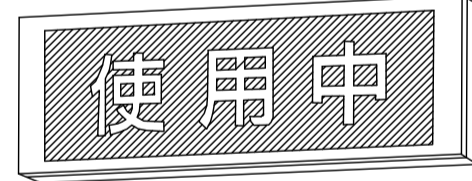
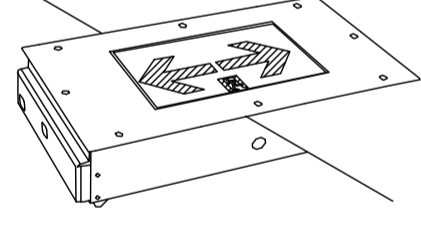


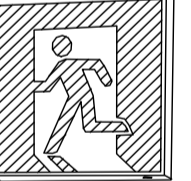
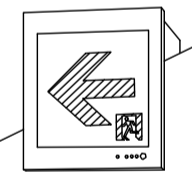
※本工事では非常照明灯及び避難誘導灯、バックヤードにあるメンテ用照明の更新のみ

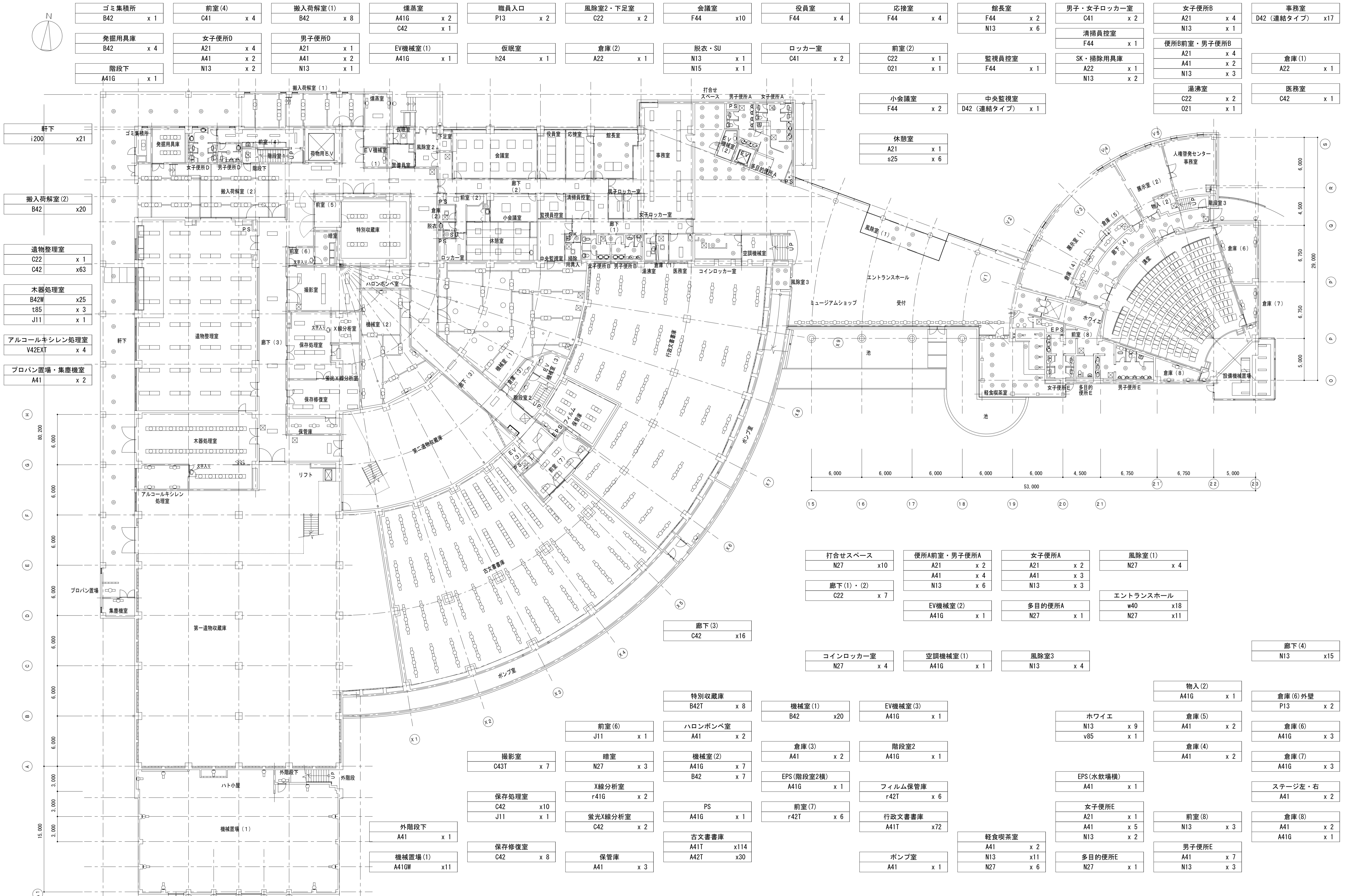
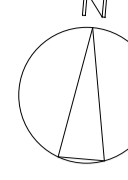
※什器や棚の配置は参考であり、現状と異なる場合がある

※記載の型番は参考品番とし相当品とする

<p>A iDシリーズ直付型40形 iスタイル</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ、2000lmタイプ</p> <p>A41G A41T A41 A42 A42T</p> <p>本体：銅板（白色粉末塗装） NNLK41109 ※末尾Gはガード付を示す FK41533 ※末尾Tは高演色を示す NEL4300NLA9 パナソニック 直付XF419NENLE9 パナソニック 直付XF449NENLE9 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLA9</p>	<p>A41GW LDL40×1 笠なし防水型</p>  <p>適合ランプ：直管LEDランプ LDL40SN1426-X 電圧100～242V ランプ素材：ガラス管、Ra：84 反射板：亜鉛銅板（クロムフリー・ホワイト） 光束維持時間40000時間 ※末尾Gはガード付を示す FK41533 ※末尾Wは防水型を示す パナソニック NNF411051LE9（ランプ別売）</p>	<p>A41eG LDL40×1 笠なし型</p>  <p>適合ランプ：直管LEDランプ LDL40SN1925K-X 電圧100～242V ランプ素材：ガラス管、Ra：84 反射板：亜鉛銅板（白色） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） ※末尾Gはガード付を示す FK41533 パナソニック NNF411030LE9（ランプ別売）</p>	<p>A21 A22 iDシリーズ直付型20形 iスタイル/笠付・笠なし iDシリーズ直付型20形 iスタイル</p>  <p>A21 一般タイプ、800lmタイプ 消費電力5.9W、定格出力型、電圧100～242V パナソニック 直付XF200NENLE9</p> <p>A22 一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100～242V パナソニック 直付XF210NENLE9</p>	<p>A`42 iDシリーズ直付型40形 iスタイル</p>  <p>ライトバー NEL4600EVR09 色温度：3500K 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 連続調光型調光タイプ（ワイズリモ用送信器別売） 付属品 リモコン HF32形高出力型2灯器具相当 HF32形高出力型2灯・6900lm ワイズリモ2/高天井ひとセンサー兼用送信器 N055100 ワン型吊具用フランジ 指定色塗装 加工 FP21008W 吊具用チェーン約2900mm 加工 FK81002M 指定色塗装</p>	<p>B iDシリーズ直付型40形 反射笠付型</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ</p> <p>B41 B42 B42W B42T</p> <p>パナソニック 直付XF419KENLE9 パナソニック 直付XF449KENLE9 ※末尾Wは防水型を示す XLW442KENZLE9 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9</p>
<p>C iDシリーズ埋込型20形 下面開放型 W300 iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ パナソニック 埋込・埋込（非）XF219VENLE9 パナソニック 埋込XF449VENLE9 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9 NEL4600NLR9</p>	<p>C41 iDシリーズ直付型40形 反射笠付型</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ、2000lmタイプ</p> <p>C41 C41T</p> <p>パナソニック 直付XF419KENLE9 ※末尾Tは高演色を示す NEL4300NLA9</p>	<p>D iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V</p> <p>D42 D42T</p> <p>本体 NNLK42330 NEL4400ENLE9 本体 NNLK42331 NEL4400ENLE9 本体 NNLK42330 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9</p>	<p>E iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300 iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W190</p>  <p>リニューアル用、一般タイプ</p> <p>E41T E42T</p> <p>本体 NNLK41319 ※末尾Tは高演色を示す NEL4300NLA9 本体 NNLK41319 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9</p>	<p>r41G iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W150</p>  <p>一般タイプ、2000lmタイプ 消費電力13.1W、定格出力型、電圧100～242V ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 ※末尾Gはガード付を示す FK41533 パナソニック 直付XF410AENLE9</p>	<p>r42 iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230 iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230</p>  <p>r42DT r42T</p> <p>本体：銅板（白色粉末塗装） NNLK42523J ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9 本体：銅板（白色粉末塗装） NNLK42123J ※末尾Tは高演色を示す NEL4500NLR9</p>
<p>021 LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当</p>	<p>W40 一体型LEDベースライトsBシリーズ</p>	<p>F44 スクエアベースライト 埋込 乳白パネル</p>	<p>h24 シーリングライト</p>	<p>s25 s25T スクエアベースライト 埋込 乳白パネル</p>	<p>U100 客席ダウンライト 100形</p>
<p>N13 N27 ダウンライト 60形 ダウンライト 100形</p>  <p>器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 昼白色（5000K）、Ra83 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白） パナソニック LGB52095LE1 同等品</p>	<p>R250 ダウンライト 750形</p>  <p>器具光束3300lm、消費電力21.7W、電圧100～242V 光束維持時間：40000時間（光束維持率85%） 5000K、Ra83、調光可能（約5～100%） LED内蔵・電源ユニット内蔵、低光束タイプ 本体：アルミ（ホワイト）、取付板：亜鉛銅板 カバー：ポリカーボネート（乳白） L1200タイプ パナソニック NNF41200LR9</p>	<p>i200 軒下用ダウンライト 1000形</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 □900タイプ、調光可能タイプ（約25～100%） 消費電力113W、定格出力型、電圧100～242V 枠：銅板（高反射白色粉末塗装）、パネル：アクリル（乳白） 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 本体：亜鉛銅板（ホワイト） 昼白色（5000K）、Ra83 パナソニック NNF45650JLT9 ※特注リニューアルプレート 既設穴1000 加工FK81002W</p>	<p>V85 ダウンライト 100形</p>  <p>昼光色（6500K）、Ra83/電球色（2700K）、Ra83 LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 器具光束4000lm、消費電力32W、電圧100V 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） 木製（白木） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC35833</p>	<p>N15 マルミナダウンライト 100形</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 本体：亜鉛銅板 □640タイプ、調光可能タイプ（約25～100%） 消費電力38W、定格出力型、電圧100～242V 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 枠：銅板（高反射白色粉末塗装）、パネル：アクリル（乳白） 昼白色（5000K）、Ra83 ※末尾Tは高演色を示す パナソニック NNF57500CLT9</p>	<p>i250 ダウンライト 1500形</p>  <p>LED<ワゴン>（一灯）タイプ、調光範囲0～100%、美光色 2700K、Ra95、広角タイプ、光源遮光角30度 器具光束7451lm、消費電力7.4W、電圧100～242V 光束維持時間40000時間（光束維持率85%）、調光方式：PWM（PC） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 パナソニック NNG35412KLD9</p>
<p>t85 Beam Free スポットライト 200形</p>  <p>LED内蔵<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） N13 器具光束：580lm、消費電力：4.2W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 N27 器具光束：985lm、消費電力：7W、電圧：100～242V パナソニック ダウンライトXND0669・1069SNLE9</p>	<p>P13 ブラケット 60形電球1灯器具相当</p>  <p>LED<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般タイプ 調光可能範囲（約1%～100%）、光源遮光角15度 光束維持時間：60000時間（光束維持率80%）、5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束：8110lm、消費電力：56.6W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ300 パナソニック ダウンライトXND7599SNLJ9</p>	<p>b400 投光器 水銀灯400形相当</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型・重耐衝撃仕様、広角タイプ 天井直付型・壁直付型・据取付型、保護等級：IP65 器具光束17400lm、消費電力97.6W、電圧100～242V 本体：アルミ、前面パネル：ポリカーボネート（透明） 光束維持時間60000時間（光束維持率85%）、昼白色、5000K、Ra70 アーム：鋼材（消磁亜鉛メッキ） 耐風速60m/s、落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV、質量：4.5kg パナソニック NYS35145KLE9</p>	<p>V42EXT Hf32W2灯用相当</p>  <p>LED内蔵<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束：950lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ125 パナソニック ダウンライトXND1057SNLE9</p>	<p>d202 街路灯リニューアル用LED電球</p>  <p>LED内蔵<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 拡散タイプ、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 3500K、Ra85、面発光タイプ（やわらかな光） 器具光束780lm、消費電力7W、電圧100～242V 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） パネル：アクリル（乳白つや消し） 埋込穴φ150 ※リニューアルプレート 150φ器具-200φ穴 NNB8006K パナソニック ダウンライトXNN1061PVL9</p>	<p>-e D42・C42・C43 LED非常灯電源別置形</p>  <p>LED内蔵<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 調光可能範囲（約5%～100%）、5000K、Ra85、拡散タイプ 光束維持時間：60000時間（光束維持率80%）、光源遮光角15度 器具光束12425lm、消費電力：104W、電圧：100～242V 反射板（上部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、φ250 パナソニック ダウンライトXND9987SNZLR9</p>
<p>t85 Beam Free スポットライト 200形</p>  <p>LED内蔵<ワゴン>（ひと粒）タイプ、電源ユニット内蔵 可変配光型、高演色タイプ 100V配線ダクト取付型、首振り角度約90度、水平回転角度360度 光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 3500K、Ra95、狭角～広角、配光調整機能付 出荷時（45°） 器具光束：775lm、消費電力：15.7W、電圧：100V 灯具：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） パナソニック NTS02107WLE1</p>	<p>P13 ブラケット 60形電球1灯器具相当</p>  <p>LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 電球色（2700K）、Ra83 器具光束4551lm、消費電力7.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、ネジ方式 光源寿命40000時間（光束維持率70%） W=280 H=280 出しろ115 アルミダイカスト（シルバメタリック）、カバー：アクリル（乳白） パナソニック ブラケットXLGE8014CE1</p>	<p>b400 投光器 水銀灯400形相当</p>  <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型・重耐衝撃仕様、広角タイプ 天井直付型・壁直付型・据取付型、保護等級：IP65 器具光束17400lm、消費電力97.6W、電圧100～242V 本体：アルミ、前面パネル：ポリカーボネート（透明） 光束維持時間60000時間（光束維持率85%）、昼白色、5000K、Ra70 アーム：鋼材（消磁亜鉛メッキ） 耐風速60m/s、落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV、質量：4.5kg パナソニック NYS35145KLE9</p>	<p>V42EXT Hf32W2灯用相当</p>  <p>耐雷サージ標準タイプ EYICL1041SA9 同等品 消費電力 37.4W 器具光束 6200?</p>	<p>d202 街路灯リニューアル用LED電球</p>  <p>LDS58N-G-E39/2 光色 昼白色（5000K Ra:83） 定格消費電力 58 W 器具光束 10000 lm 口金 E39</p> <p>LEK-720016A33 定格電圧：AC100V200V/242V 定格消費電力：63.2W（100V時）61.1W（200V時）</p>	<p>-e D42・C42・C43 LED非常灯電源別置形</p>  <p>レンズ：ガラス 電圧：AC/DC100V φ60、低・中天并用（～6m） 非常灯許定番号：LCLC-001 LED内蔵、非常時：非常用LED点灯/常時消灯 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上げ）、本体：銅板 パナソニック NNF846665</p>

※記載の型番は参考品番とし相当品とする

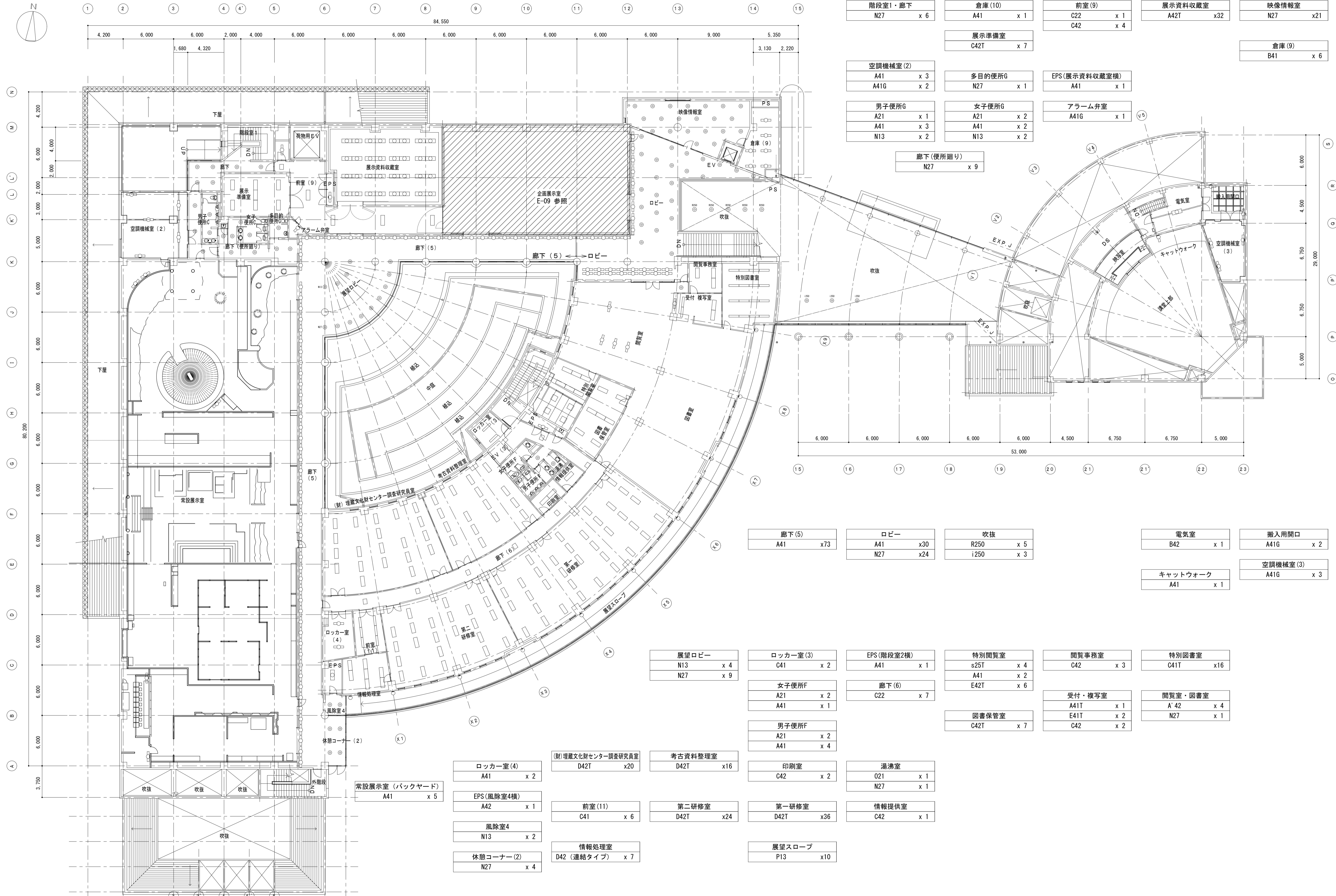
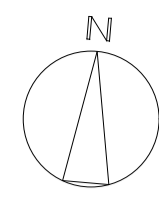
a5	LED 客席誘導灯壁直付型	r42eT	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230	D-e	iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300	C-e	iDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W300	C22e	iDシリーズ埋込型20形 下面開放型 W300	B-e	iDシリーズ直付型40形 反射笠付型
	 <p>客席誘導灯 壁直付型 一般型(20分間) 自己点検機能付 ニッケル水素蓄電池 型式認定番号: 4AE-1006 パナソニック FA01520JLE1 ※ バッテリー別置型加工</p>		 <p>消費電力26.3W、定格出力型、電圧100~242V 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83 ※末尾eは非常照明を示す NNF84005</p>		 <p>リニューアル用、一般タイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100~242V 本体 連結左用 加工 NNLG48330 連結右用 加工NNL648330 ※末尾eは非常照明を示す NEL4405GNLE9 本体 連結中用 加工NNL648330 ※末尾eは非常照明を示す NEL4405GNLE9 D42eT 本体 NNLK42330 ※末尾Tは高演色を示す NNF84665</p>		 <p>リニューアル用、一般タイプ 本体 NNLK42330 消費電力25W、定格出力型、電圧100~242V ※末尾eは非常照明を示す XDL449VGNLE9 ※末尾Tは高演色を示す NEL4500WNLR9 ※末尾eは非常照明を示す NNF84665 C42eT 本体 NNLK42330 ※末尾Tは高演色を示す NNF84665 C43eT 本体 NNLK42330 ※末尾Tは高演色を示す NNF84665</p>		 <p>リニューアル専用、一般タイプ 消費電力11.6W、定格出力型、電圧100~242V ※末尾eは非常照明を示す NNF84665</p>		 <p>リニューアル用、一般タイプ ※末尾eは非常照明を示す XDL449VGNLE9</p>
J22B	一体型階段灯通路誘導灯兼用型 ワイドタイプ20形	J42B	一体型階段灯通路誘導灯兼用型 ワイドタイプ40形	K41B U40e	一体型階段灯通路誘導灯兼用型 ワイドタイプ40形	L40e	LED非常灯電源別置形	M40e	LED非常灯電源別置形	L50e	ダウンライト 60形
	 <p>ひとセンサ段調光30分、Hf16形器具2灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号: LALE-015 本体: 鋼板(白色塗装)、レンズ: ガラス 常用光ユニット(カバー): ポリカーボネート(乳白) 電圧: 100~242V対応、蓄電池: ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット: 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 自己点検機能付 パナソニック NNCF23135JLE9</p>		 <p>ひとセンサ段調光30分、Hf32形器具2灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号: LALE-015 本体: 鋼板(白色塗装)、レンズ: ガラス 常用光ユニット(カバー): ポリカーボネート(乳白) 電圧: 100~242V対応、蓄電池: ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット: 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 自己点検機能付 パナソニック NNCF43155JLE9</p>		 <p>ひとセンサ段調光30分、Hf32形器具1灯相当 ※末尾Tは高演色を示す非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号: LALE-015 本体: 鋼板(白色塗装)、レンズ: ガラス 常用光ユニット(カバー): ポリカーボネート(乳白) 電圧: 100~242V対応、蓄電池: ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット: 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 自己点検機能付 パナソニック NNCF43155JLE9</p>		 <p>φ100、低・中天井用(~6m) LED内蔵、非常時: 非常用LED点灯/常時消灯 電圧: AC/DC100V 非常灯評定番号: LCLE-001 レンズ: ガラス 枠: アルミダイキャスト(ホワイトつや消し仕上げ)、本体: 鋼板 パナソニック NNF884605</p>		 <p>直付 低・中天井用(~6m) LED内蔵、非常時: 非常用LED点灯/常時消灯 電圧: AC/DC100V 非常灯評定番号: LCLE-001 レンズ: ガラス、カバー: 鋼板、本体: 鋼板 パナソニック NNF884005 ※ 末尾Kは黒色を示す ※ 末尾eは非常照明を示す</p>		 <p>LED内蔵<ワゴンア(ひと粒)タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 器具光束: 580lm、消費電力: 4.2W、電圧: 100~242V 反射板(上部): プラスチック(ホワイト) 枠: 鋼板(ホワイトつや消し仕上げ)、埋込穴φ150 ※末尾eは非常照明を示す NNF84665 パナソニック ダウンライトXND0669SLLLE9</p>
M100eK	非常灯電源別置形		天井取付 熱線センサ付自動スイッチ								
	 <p>LED内蔵、非常時: 非常用LED点灯/常時消灯 非常灯評定番号: LCLE-001 本体: 鋼板、レンズ: ガラス 電圧: AC/DC100V 直付型、低・中天井用(~6m) カバー: 鋼板(ブラック3分つや仕上げ) パナソニック NNF884045</p>		 <p>観機 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ パナソニック WTK24818 (観器・8Aタイプ・広角検知形) (検知後連続動作時間 約10秒~30分可変形) (明るさセンサ付) (AC100V) 定 格 8A 100V AC 子機 天井取付 熱線センサ付自動スイッチ パナソニック WTK29129 (子器・広角検知形) 定 格 5mA 12V DC</p>								
J11	LED6W 標示灯	G11B	LED C級 床埋込型通路誘導灯 (リニューアル対応型) 片面型	H11Ba	LED C級 避難口誘導灯片面型	H11Bb	LED C級 避難口誘導灯片面型	H11Bb	LED C級 避難口誘導灯両面型	I11B	LED C級 通路誘導灯片面型
	 <p>パネル FK11531 昼白色、5000K、Ra75 壁・天井面取付兼用 枠: プラスチック(クールホワイトつや消し仕上げ) 光束維持時間4000時間(光束維持率70%) パナソニック NNF11930LE1+FK11531</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 床埋込型、電池内蔵形 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号: 2AS123-1034 パナソニック FA10383CLE1+FK10098</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 表示板 FK10300 型式認定番号: 1AS111-3618 公共施設型番 SH1-FBF20-C ※ リニューアルプレート FTE990SK</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 表示板 FK10300 型式認定番号: 1AS111-3618 公共施設型番 SH1-FBF20-C ※ リニューアルプレート 加工FK21727C FA11478→FA10312C用リニューアルプレート加工 ※天井埋込型一直付型</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 両面型 壁・天井直付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 表示板 FK10300 表示板 FK10305 型式認定番号: 1AS111-3618 公共施設型番 SH1-FBF20-C ※ リニューアルプレート 加工FK21727C FA11478→FA10322C用リニューアルプレート加工 ※天井埋込型一直付型</p>		 <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁埋込型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号: 1AS111-3626 パナソニック FA10303CLE1+FK10316 公共施設型番 SH1-FB022-C ※ リニューアルプレート FK11724C</p>



ゴミ集積所 B42 x 1	前室(4) C41 x 4	搬入荷解室(1) B42 x 8	煙草室 A41G x 2 C42 x 1	職員入口 P13 x 2	風除室2・下足室 C22 x 2	会議室 F44 x10	役員室 F44 x 4	応接室 F44 x 4	館長室 F44 x 2 N13 x 6	男子・女子ロッカー室 C41 x 2	女子便所B A21 x 4 N13 x 1	事務室 D42 (連結タイプ) x17
発掘用具庫 B42 x 4	女子便所D A21 x 4 A41 x 2 N13 x 2	男子便所D A21 x 1 A41 x 2 N13 x 1	EV機械室(1) A41G x 1	仮眠室 h24 x 1	倉庫(2) A22 x 1	脱衣・SU N13 x 1 N15 x 1	ロッカー室 C41 x 2	前室(2) C22 x 1 O21 x 1	監視員控室 F44 x 1	清掃員控室 F44 x 1	便所B前室・男子便所B A21 x 4 A41 x 2 N13 x 3	倉庫(1) A22 x 1
階段下 A41G x 1									中央監視室 D42 (連結タイプ) x 1	SK・掃除用具庫 A22 x 1 N13 x 2	湯沸室 C22 x 2 O21 x 1	医務室 C42 x 1

軒下 i200 x21	搬入荷解室(2) B42 x20	遺物整理室 C22 x 1 C42 x63	木器処理室 B42W x25 t85 x 3 J11 x 1	アルコールキシレン処理室 V42EXT x 4	プロパン置場・集塵機室 A41 x 2	搬入荷解室(1)	前室(5)	前室(6)	廊下(3)	木器処理室	アルコールキシレン処理室	プロパン置場	集塵機室	第一遺物収蔵庫	第一遺物収蔵庫	ハト小屋	外階段下	外階段	機械置場(1)	外階段下 A41 x 1	機械置場(1) A41GW x11																																																																																									
						特別収蔵庫	前室(2)	前室(3)	廊下(1)	搬入荷解室(1)	搬入荷解室(2)	廊下(2)	廊下(3)	廊下(4)	廊下(5)	廊下(6)	廊下(7)	廊下(8)	廊下(9)	廊下(10)	廊下(11)	廊下(12)	廊下(13)	廊下(14)	廊下(15)	廊下(16)	廊下(17)	廊下(18)	廊下(19)	廊下(20)	廊下(21)	廊下(22)	廊下(23)	廊下(24)	廊下(25)	廊下(26)	廊下(27)	廊下(28)	廊下(29)	廊下(30)	廊下(31)	廊下(32)	廊下(33)	廊下(34)	廊下(35)	廊下(36)	廊下(37)	廊下(38)	廊下(39)	廊下(40)	廊下(41)	廊下(42)	廊下(43)	廊下(44)	廊下(45)	廊下(46)	廊下(47)	廊下(48)	廊下(49)	廊下(50)	廊下(51)	廊下(52)	廊下(53)	廊下(54)	廊下(55)	廊下(56)	廊下(57)	廊下(58)	廊下(59)	廊下(60)	廊下(61)	廊下(62)	廊下(63)	廊下(64)	廊下(65)	廊下(66)	廊下(67)	廊下(68)	廊下(69)	廊下(70)	廊下(71)	廊下(72)	廊下(73)	廊下(74)	廊下(75)	廊下(76)	廊下(77)	廊下(78)	廊下(79)	廊下(80)	廊下(81)	廊下(82)	廊下(83)	廊下(84)	廊下(85)	廊下(86)	廊下(87)	廊下(88)	廊下(89)	廊下(90)	廊下(91)	廊下(92)	廊下(93)	廊下(94)	廊下(95)	廊下(96)	廊下(97)	廊下(98)	廊下(99)	廊下(100)

打合せスペース N27 x10	便所A前室・男子便所A A21 x 2 A41 x 4 N13 x 6	女子便所A A21 x 2 A41 x 3 N13 x 3	風除室(1) N27 x 4
廊下(1)・(2) C22 x 7	EV機械室(2) A41G x 1	多目的便所A N27 x 1	エントランスホール w40 x18 N27 x11
廊下(3) C42 x16	コインロッカー室 N27 x 4	空調機械室(1) A41G x 1	風除室3 N13 x 4
特別収蔵庫 B42T x 8	機械室(1) B42 x20	EV機械室(3) A41G x 1	物入(2) A41G x 1
前室(6) J11 x 1	ハロンボンベ室 A41 x 2	倉庫(3) A41 x 2	倉庫(6)外壁 P13 x 2
撮影室 C43T x 7	暗室 N27 x 3	EPS(階段室2横) A41G x 1	倉庫(5) A41 x 2
保存処理室 C42 x10 J11 x 1	X線分析室 r41G x 2	前室(7) r42T x 6	倉庫(6) A41G x 3
保存修復室 C42 x 8	蛍光X線分析室 C42 x 2	フィルム保管庫 r42T x 6	倉庫(4) A41 x 2
	保管庫 A41 x 3	行政文書書庫 A41T x72	倉庫(7) A41G x 3
		軽食喫茶室 A41 x 2 N13 x11 N27 x 6	倉庫(3) A41 x 2
			倉庫(8) A41 x 2 A41G x 1
			ステージ左・右 A41 x 2
			女子便所E A21 x 1 A41 x 5 N13 x 2
			前室(8) N13 x 3
			男子便所E A41 x 7 N13 x 3
			多目的便所E N27 x 1



階段室1・廊下 N27 x 6	倉庫(10) A41 x 1	前室(9) C22 x 1 C42 x 4	展示資料収蔵室 A42T x32	映像情報室 N27 x21
	展示準備室 C42T x 7			倉庫(9) B41 x 6

空調機械室(2) A41 x 3 A41G x 2	多目的便所G N27 x 1	EPS(展示資料収蔵室横) A41 x 1
男子便所G A21 x 1 A41 x 3 N13 x 2	女子便所G A21 x 2 A41 x 2 N13 x 2	アラーム弁室 A41G x 1

廊下(便所廻り) N27 x 9

廊下(5) A41 x73	ロビー A41 x30 N27 x24	吹抜 R250 x 5 I250 x 3
------------------	---------------------------	----------------------------

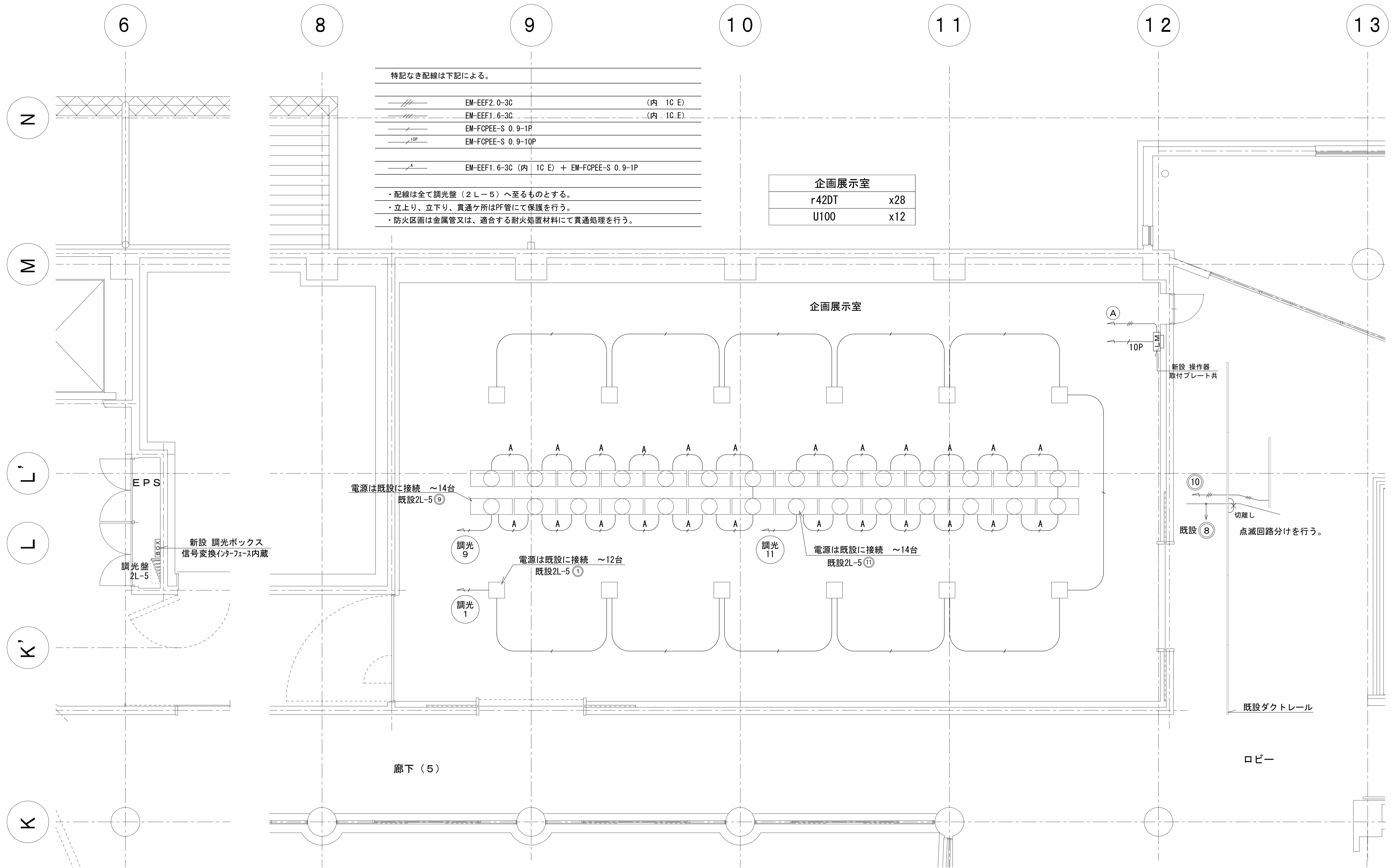
電気室 B42 x 1	搬入用開口 A41G x 2
キャットウォーク A41 x 1	空調機械室(3) A41G x 3

展望ロビー N13 x 4 N27 x 9	ロッカー室(3) C41 x 2	EPS(階段室2横) A41 x 1	特別閲覧室 s25T x 4 A41 x 2 E42T x 6	閲覧事務室 C42 x 3	特別図書室 C41T x16
	女子便所F A21 x 2 A41 x 1	廊下(6) C22 x 7	図書保管室 C42T x 7	受付・複写室 A41T x 1 E41T x 2 C42 x 2	閲覧室・図書室 A' 42 x 4 N27 x 1

ロッカー室(4) A41 x 2	EPS(風除室4横) A42 x 1	風除室4 N13 x 2	休憩コーナー(2) N27 x 4
常設展示室(バックヤード) A41 x 5	情報処理室 D42(連結タイプ) x 7		

(財)埋蔵文化財センター調査研究員室 D42T x20	考古資料整理室 D42T x16	第二研修室 D42T x24	第一研修室 D42T x36	展望スロープ P13 x10
--------------------------------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------

印刷室 C42 x 2	湯沸室 O21 x 1 N27 x 1	情報提供室 C42 x 1
----------------	---------------------------	------------------



特記なき配線は下記による。

	EM-EEF2.0-3C	(内 1C E)
	EM-EEF1.6-3C	(内 1C E)
	EM-FCPEE-S 0.9-1P	
	EM-FCPEE-S 0.9-10P	
	EM-EEF1.6-3C (内 1C E) + EM-FCPEE-S 0.9-1P	

・配線は全て調光盤 (2L-5) へ至るものとする。
 ・立上り、立下り、貫通ヶ所はPF管にて保護を行う。
 ・防火区画は金属管又は、適合する耐火処置材料にて貫通処理を行う。

企画展示室	
r42DT	x28
U100	x12

調光設備明細

記号	名称	仕様	品番	数量	備考
LM	ライトマネージャーFx (操作器)	6回路用	NQ28861K	1台	
	同上用取付プレート			1枚	
IF1	同上用信号変換インターフェース	適合起動方式: LD、他	NQL10121	1台	既設回路①用
IF2	同上用信号変換インターフェース	適合起動方式: LED電球用	NQL10101	2台	既設回路⑧、⑩用
IF3	同上用信号変換インターフェース	適合起動方式: LR	NQL10161	2台	既設回路⑨、⑪用
BOX	同上用調光ボックス		NQL69101	1台	
	安定化ボックス		NNQ79001	2台	既設回路⑧、⑩ 端末用
	配線用遮断器	2P1E 50AF/15AT	BKF2151	1個	操作器・インターフェース電源用

・工事区分は下記による。

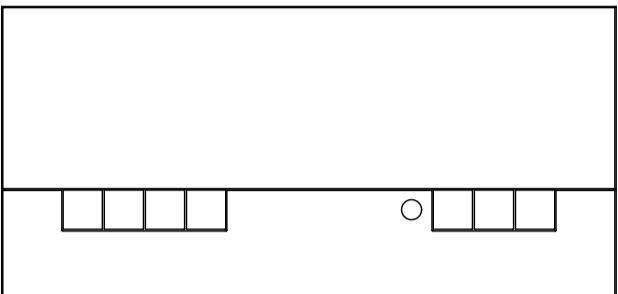
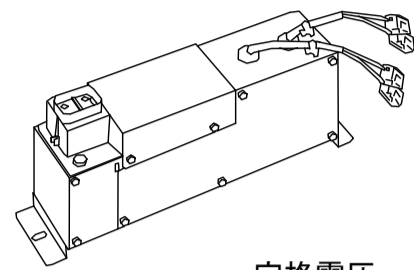
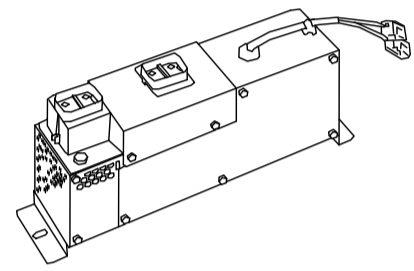
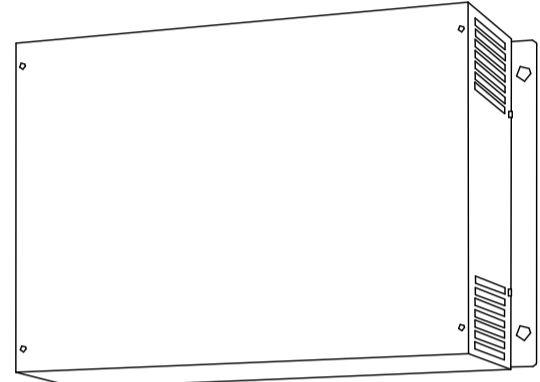
設備内容	電気	パナソニック
1. 照明器具の撤去・取付・結線	○	
2. 盤～負荷への配線	○	
3. 調光設備機器の搬入・取付・結線 (既設盤改造を含む)		○
4. 調光設備の試験調整		○

・調光設備工事の窓口は下記とし、着工時に打合せを行うこと。

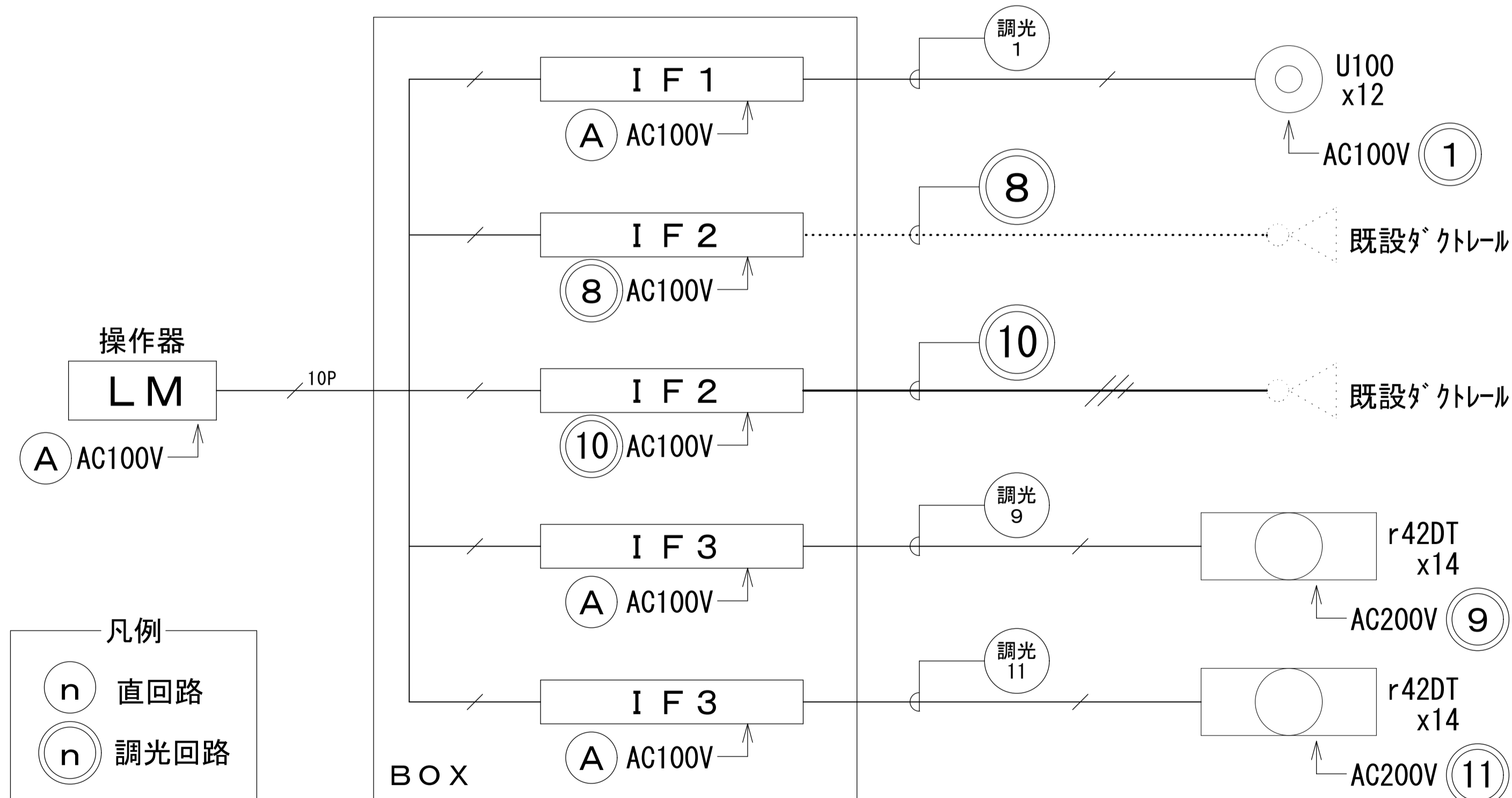
パナソニックEWエンジニアリング(株)

担当: 薄井氏 電話: 027-370-4501

機器姿図

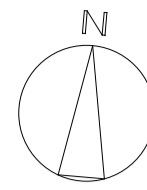
LM	ライトマネージャーFx (操作器)	IF1	信号変換インターフェース・信号線式LED用(LD)
		IF3	信号変換インターフェース・信号線式LED用(LR)
	定格電圧: AC100V 調光回路数: 6回路 操作シーン数: 4シーン+OFF		
	パナソニック NQ28861K		定格電圧: AC100V~242V
		IF1	パナソニック NQL10121
		IF3	パナソニック NQL10161
IF2	信号変換インターフェース・LED電球用	BOX	調光ボックス
			
	定格電圧: AC100V		信号変換インターフェース台数: 最大6台
	パナソニック NQL10101		パナソニック NQL69101

システム系統図



調光盤(2L-5) 負荷表

回路番号	分岐回路器	負荷名称	容量VA	電圧V	備考
①	R-MCB 1P	ショーケース1	800	100	
②	R-MCB 1P	ショーケース2	800	100	
③	R-MCB 1P	ショーケース3	800	100	
④	R-MCB 1P	ショーケース4	800	100	
⑤	R-MCB 1P	ショーケース5	800	100	
⑥	R-MCB 1P	ショーケース6	800	100	
①	MCB 1P	ダウンライト	89	100	信号線式調光
②	MCB 1P	ライティングダクト1	900	100	
③	MCB 1P	ライティングダクト2	900	100	
④	MCB 1P	ライティングダクト3	900	100	
⑤	MCB 1P	ライティングダクト4	900	100	
⑥	MCB 1P	ライティングダクト5	900	100	
⑦	MCB 1P	ライティングダクト6	900	100	
⑧	MCB 1P	ライティングダクト7	200	100	位相制御方式調光
⑨	MCB 2P	ベースライト1	447	200	信号線式調光
⑩	MCB 2P	ライティングダクト8	200	100	位相制御方式調光 ※100Vに切替
⑪	MCB 2P	ベースライト2	447	200	信号線式調光
⑫	MCB 2P	予備	-	100	※100Vに切替
A	MCB 2P	操作器・他	30	100	盤内にMCBを新設取付



前室(4)	L40e	x 2
-------	------	-----

搬入荷解室(1)	B42e	x 2
----------	------	-----

燻蒸室	C42e	x 1
-----	------	-----

警備員室	C42e	x 1
------	------	-----

風除室2・下足室	C22e	x 1
----------	------	-----

会議室	L40e	x 2
-----	------	-----

役員室	L40e	x 1
-----	------	-----

応接室	L40e	x 1
-----	------	-----

館長室	L40e	x 1
-----	------	-----

事務室	C22e	x 1
-----	------	-----

D42e(連結タイプ)	x 3
-------------	-----

医務室	C42e	x 1
-----	------	-----

EV機械室(1)	A41eG	x 1
----------	-------	-----

※天井材がアスベスト含有材(みなし)のため、
埋込用穴開け作業はアスベスト配慮工事とする

前室(2)	C22e	x 1
-------	------	-----

監視員控室	L40e	x 1
-------	------	-----

清掃員控室	L40e	x 1
-------	------	-----

小会議室	L40e	x 1
------	------	-----

中央監視室	D42e(連結タイプ)	x 2
-------	-------------	-----

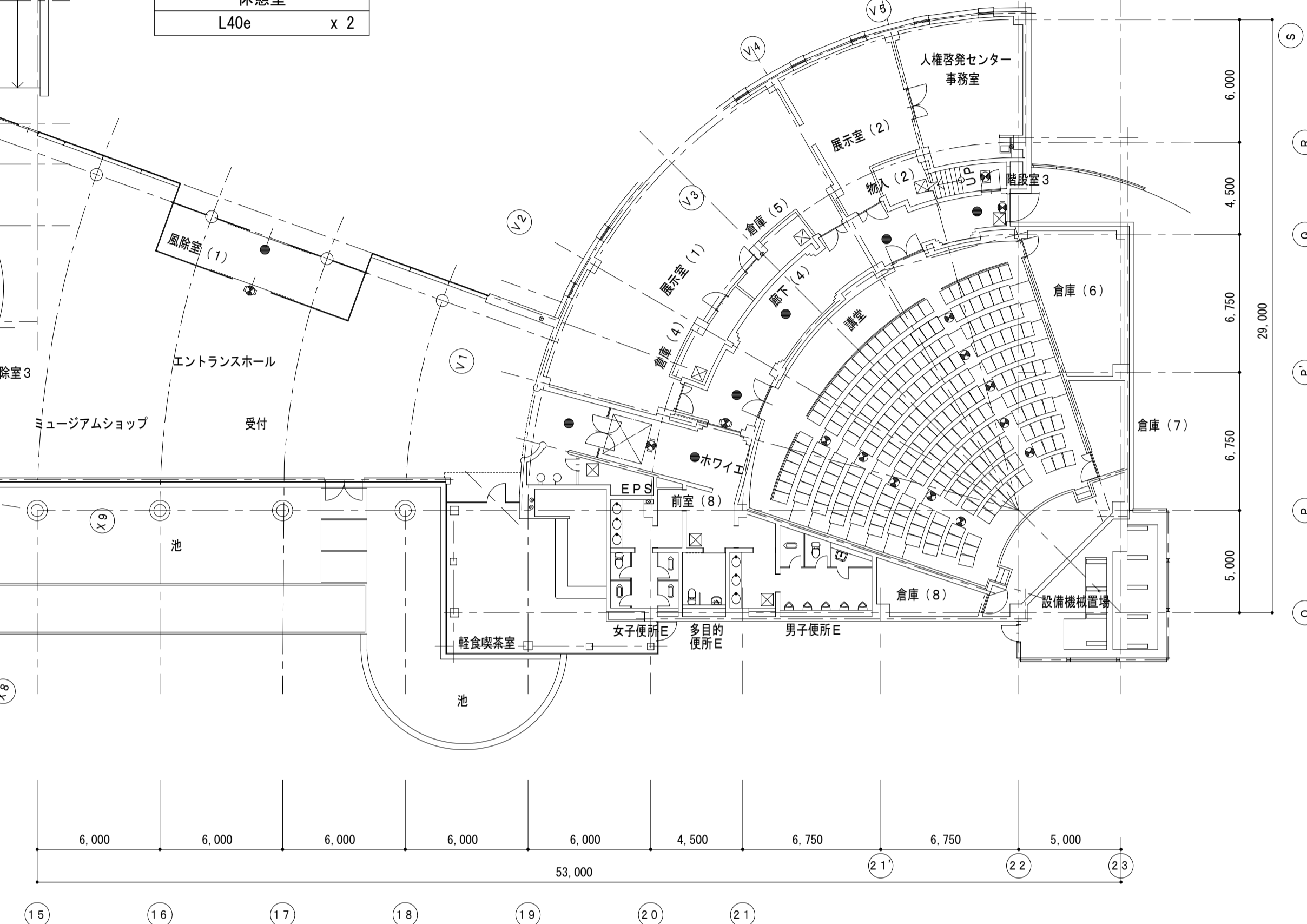
休憩室	L40e	x 2
-----	------	-----

階段室1	K41B	x 1
------	------	-----

搬入荷解室(2)	M40e	x 3
----------	------	-----

H11Ba	x 1
-------	-----

80,200
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
6,000
3,000
3,000
3,000
15,000



廊下(1)・(2)	C22e	x 8
-----------	------	-----

EV機械室(2)	A41eG	x 1
----------	-------	-----

エントランスホール	H11Ba	x 1
-----------	-------	-----

ホワイエ	L40e	x 2
------	------	-----

講堂	a5	x10
----	----	-----

階段室3	J22B	x 1
------	------	-----

廊下(3)	C42e	x14
-------	------	-----

機械室(1)	B42e	x 6
--------	------	-----

EV機械室(3)	A41eG	x 1
----------	-------	-----

階段室2	H11Ba	x 1
------	-------	-----

行政文書庫	M40e	x 5
-------	------	-----

前室(5)	B42e	x 1
-------	------	-----

機械室(2)	B42e	x 2
--------	------	-----

前室(7)	r42eT	x 2
-------	-------	-----

行政文書庫	M40e	x 5
-------	------	-----

撮影室	C43eT	x 2
-----	-------	-----

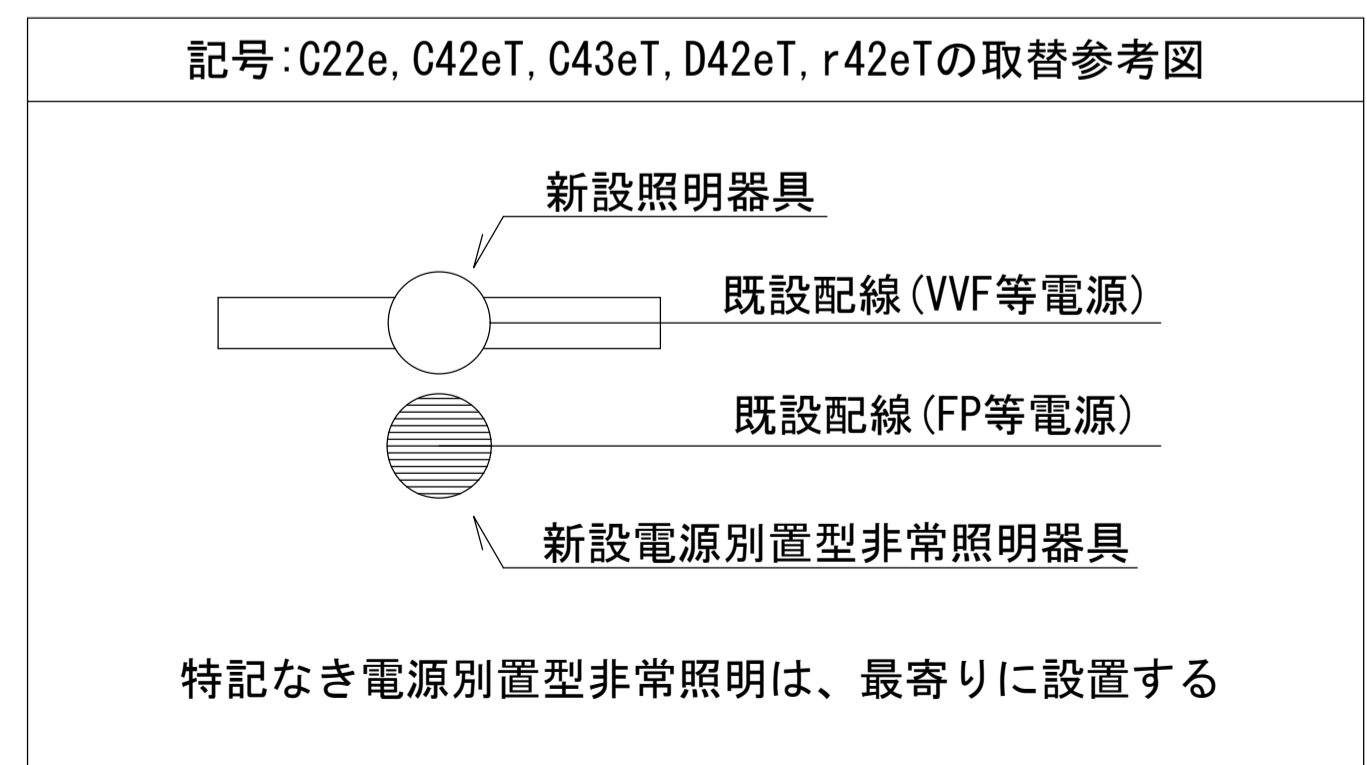
前室(6)	C42e	x 1
-------	------	-----

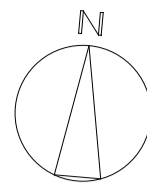
古文書書庫	M40e	x 4
-------	------	-----

保存処理室	C42e	x 2
-------	------	-----

蛍光X線分析室	C42e	x 1
---------	------	-----

保存修復室	C42e	x 2
-------	------	-----





前室(4)
IL40W非常灯 埋込 x 2

搬入荷解室(1)
FL40Wx2(非) 直付 x 2

燻蒸室
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

警備員室
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

風除室2・下足室
FL20Wx2(非) 埋込 x 1
FL10W誘導灯 埋込 x 1

会議室
IL40W非常灯 埋込 x 2

役員室
IL40W非常灯 埋込 x 1

応接室
IL40W非常灯 埋込 x 1

館長室
IL40W非常灯 埋込 x 1

事務室
FL20Wx2(非) 埋込 x 1
FL40Wx2(非) 埋込 x 3

EV機械室(1)
FL40Wx1(非) 直付 x 1

前室(2)
FL20Wx2(非) 埋込 x 1
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

監視員控室
IL40W非常灯 埋込 x 1

清掃員控室
IL40W非常灯 埋込 x 1

医務室
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

小会議室
IL40W非常灯 埋込 x 1

中央監視室
FL40Wx2(非) 埋込 x 2

休憩室
IL40W非常灯 埋込 x 2

階段室1
FL40Wx1(誘) 直付 x 1
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

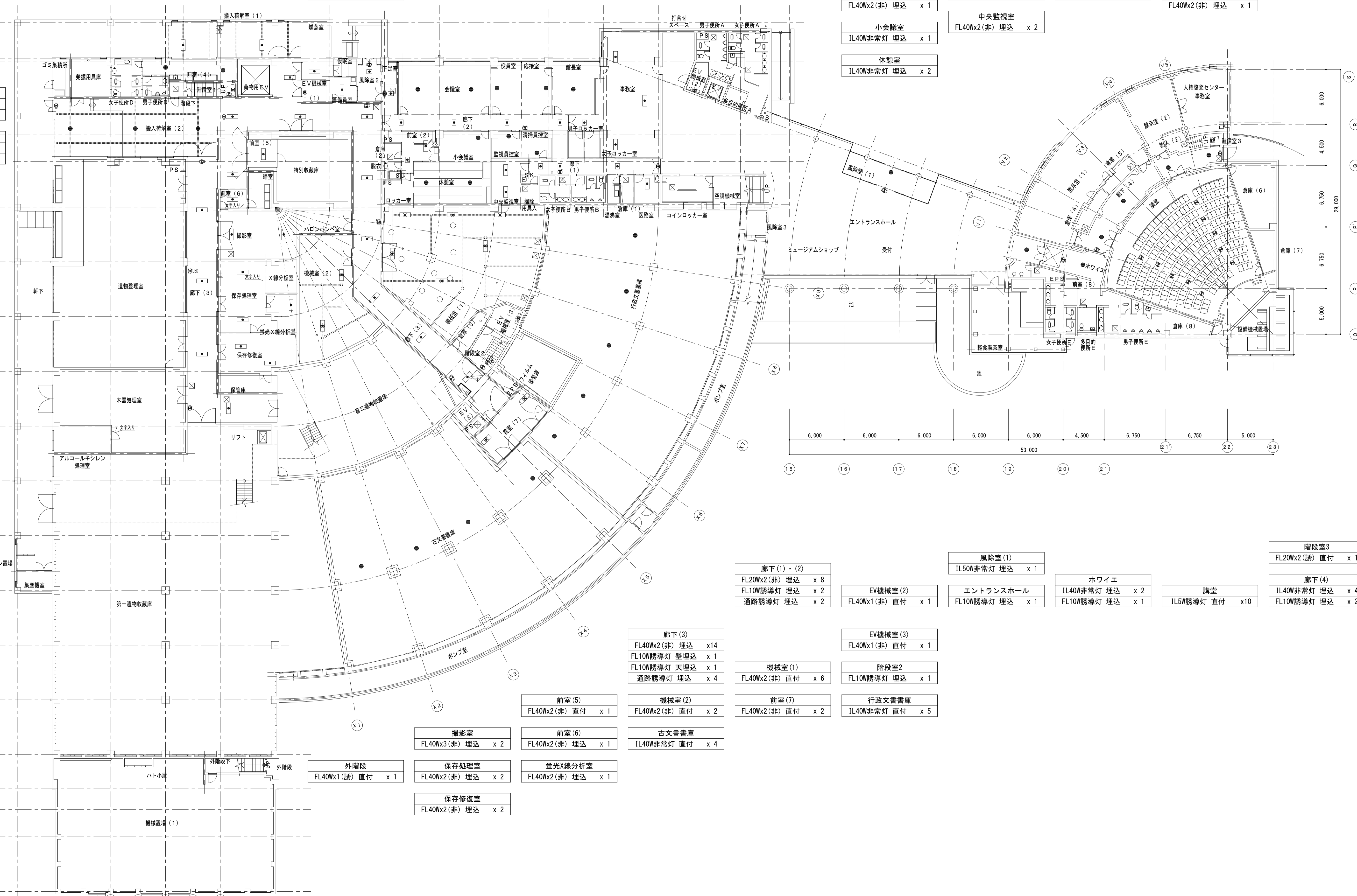
搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1

搬入荷解室(2)
IL40W非常灯 直付 x 3
FL10W誘導灯 埋込 x 1



廊下(1)・(2)
FL20Wx2(非) 埋込 x 8
FL10W誘導灯 埋込 x 2
通路誘導灯 埋込 x 2

風除室(1)
IL50W非常灯 埋込 x 1

階段室3
FL20Wx2(誘) 直付 x 1

EV機械室(2)
FL40Wx1(非) 直付 x 1

エントランスホール
FL10W誘導灯 埋込 x 1

ホワイエ
IL40W非常灯 埋込 x 2
FL10W誘導灯 埋込 x 1

講堂
IL5W誘導灯 直付 x10

廊下(4)
IL40W非常灯 埋込 x 4
FL10W誘導灯 埋込 x 2

廊下(3)
FL40Wx2(非) 埋込 x14
FL10W誘導灯 壁埋込 x 1
FL10W誘導灯 天埋込 x 1
通路誘導灯 埋込 x 4

EV機械室(3)
FL40Wx1(非) 直付 x 1

階段室2
FL10W誘導灯 埋込 x 1

前室(5)
FL40Wx2(非) 直付 x 1

機械室(2)
FL40Wx2(非) 直付 x 2

前室(7)
FL40Wx2(非) 直付 x 2

行政文書庫
IL40W非常灯 直付 x 5

撮影室
FL40Wx3(非) 埋込 x 2

前室(6)
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

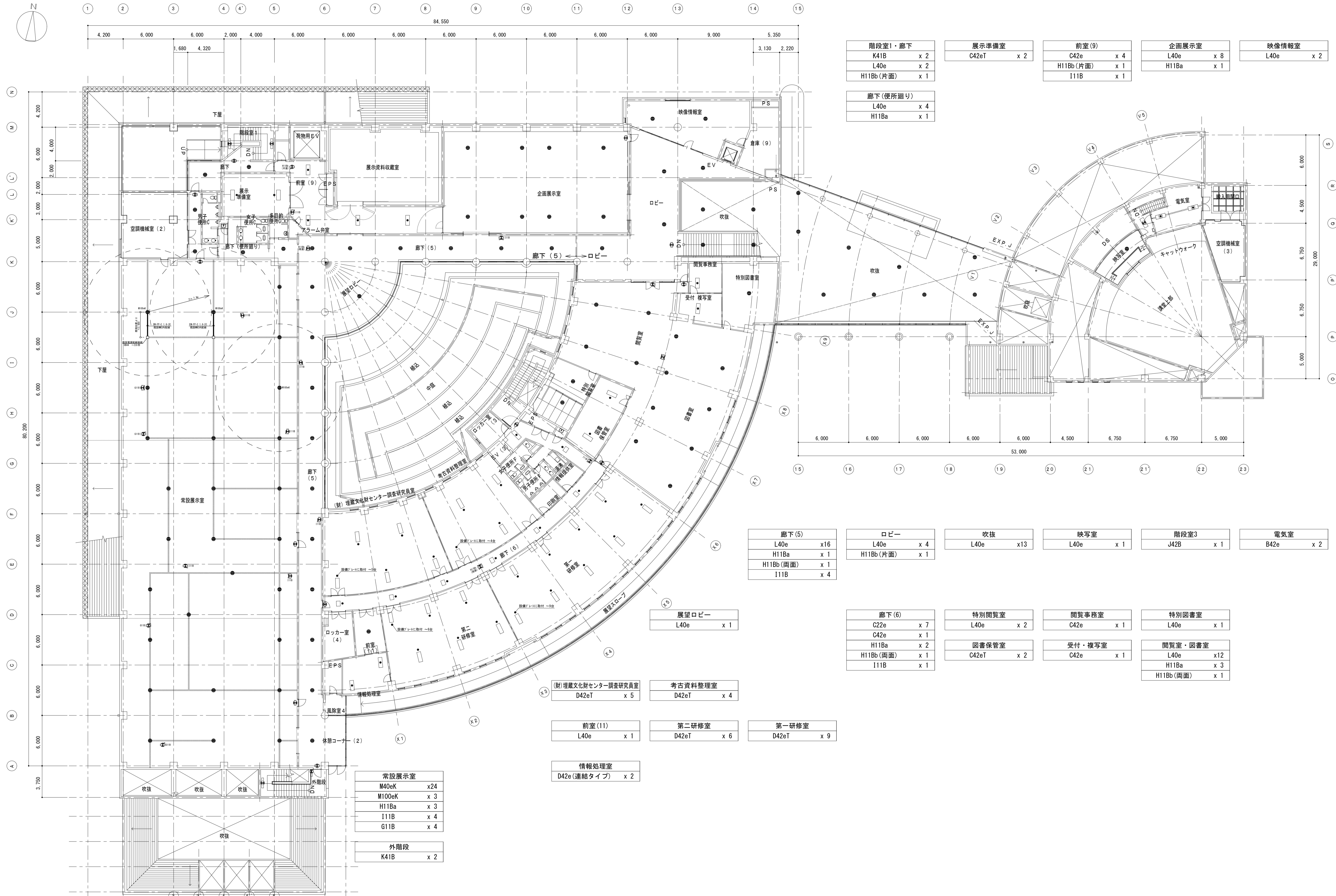
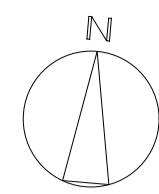
古文書庫
IL40W非常灯 直付 x 4

外階段
FL40Wx1(誘) 直付 x 1

保存処理室
FL40Wx2(非) 埋込 x 2

蛍光X線分析室
FL40Wx2(非) 埋込 x 1

保存修復室
FL40Wx2(非) 埋込 x 2



階段室1・廊下 K41B x 2 L40e x 2 H11Bb(片面) x 1	展示準備室 C42eT x 2	前室(9) C42e x 4 H11Bb(片面) x 1 I11B x 1	企画展示室 L40e x 8 H11Ba x 1	映像情報室 L40e x 2
--	--------------------	--	--------------------------------	-------------------

廊下(便所廻り) L40e x 4 H11Ba x 1

廊下(5) L40e x16 H11Ba x 1 H11Bb(両面) x 1 I11B x 4

ロビー L40e x 4 H11Bb(片面) x 1

吹抜 L40e x13

映写室 L40e x 1

階段室3 J42B x 1

電気室 B42e x 2

廊下(6) C22e x 7 C42e x 1 H11Ba x 2 H11Bb(両面) x 1 I11B x 1

特別閲覧室 L40e x 2

閲覧事務室 C42e x 1

特別図書室 L40e x 1

図書保管室 C42eT x 2

受付・複写室 C42e x 1

閲覧室・図書室 L40e x12 H11Ba x 3 H11Bb(両面) x 1

(財)埋蔵文化センター調査研究員室 D42eT x 5

考古資料整理室 D42eT x 4

前室(11) L40e x 1

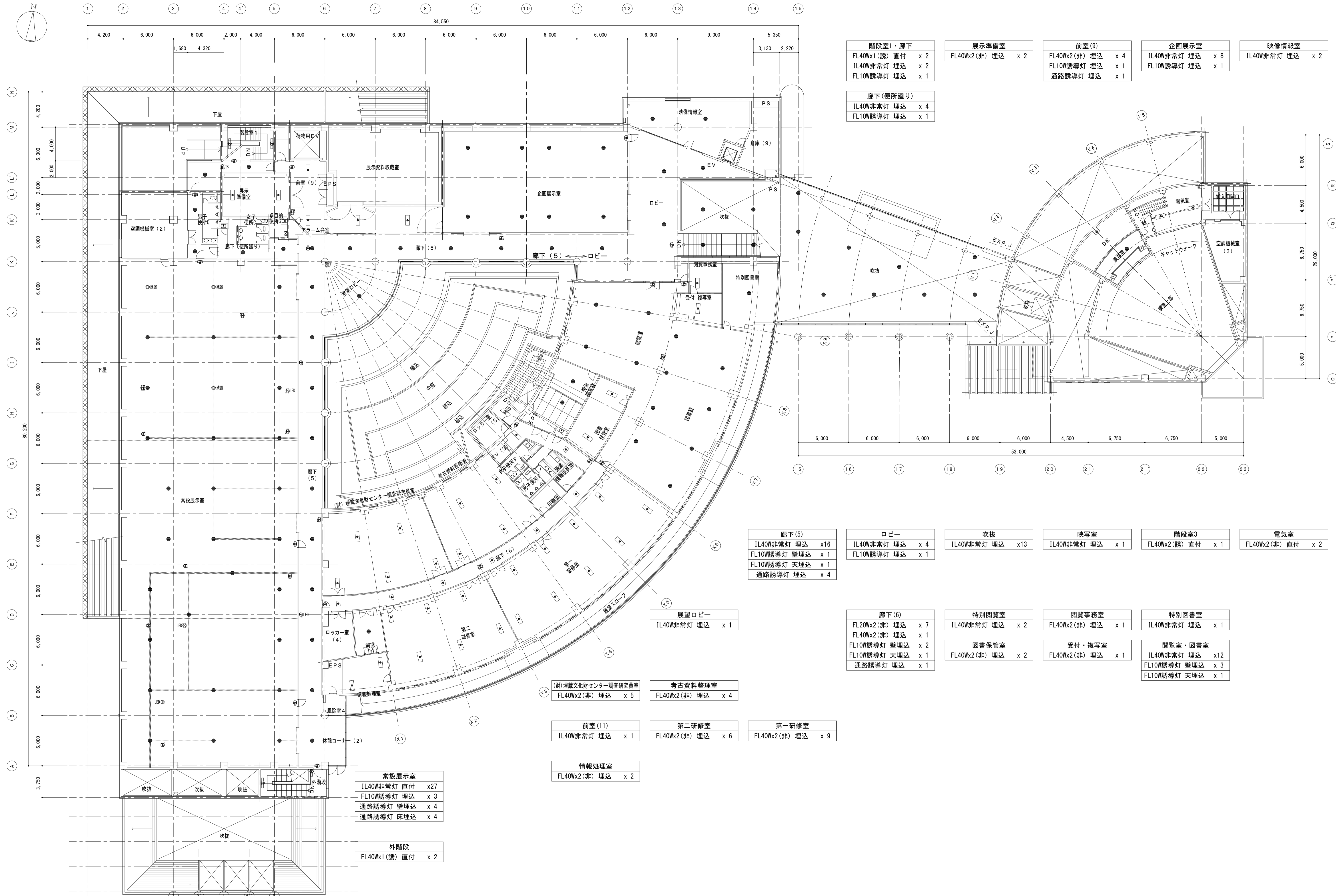
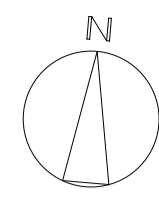
第二研修室 D42eT x 6

第一研修室 D42eT x 9

情報処理室 D42e(連結タイプ) x 2

常設展示室 M40eK x24 M100eK x 3 H11Ba x 3 I11B x 4 G11B x 4

外階段 K41B x 2



階段室1・廊下 FL40Wx1(誘)直付 x 2 IL40W非常灯 埋込 x 2 FL10W誘導灯 埋込 x 1	展示準備室 FL40Wx2(非)埋込 x 2	前室(9) FL40Wx2(非)埋込 x 4 FL10W誘導灯 埋込 x 1 通路誘導灯 埋込 x 1	企画展示室 IL40W非常灯 埋込 x 8 FL10W誘導灯 埋込 x 1	映像情報室 IL40W非常灯 埋込 x 2
---	---------------------------	--	---	--------------------------

廊下(便所廻り) IL40W非常灯 埋込 x 4 FL10W誘導灯 埋込 x 1
--

廊下(5) IL40W非常灯 埋込 x 16 FL10W誘導灯 壁埋込 x 1 FL10W誘導灯 天埋込 x 1 通路誘導灯 埋込 x 4

ロビー IL40W非常灯 埋込 x 4 FL10W誘導灯 埋込 x 1

吹抜 IL40W非常灯 埋込 x 13

映写室 IL40W非常灯 埋込 x 1

階段室3 FL40Wx2(誘)直付 x 1

電気室 FL40Wx2(非)直付 x 2

廊下(6) FL20Wx2(非)埋込 x 7 FL40Wx2(非)埋込 x 1 FL10W誘導灯 壁埋込 x 2 FL10W誘導灯 天埋込 x 1 通路誘導灯 埋込 x 1

特別図書室 IL40W非常灯 埋込 x 2

閲覧事務室 FL40Wx2(非)埋込 x 1

特別図書室 IL40W非常灯 埋込 x 1

図書保管室 FL40Wx2(非)埋込 x 2

受付・複写室 FL40Wx2(非)埋込 x 1

閲覧室・図書室 IL40W非常灯 埋込 x 12 FL10W誘導灯 壁埋込 x 3 FL10W誘導灯 天埋込 x 1

展望ロビー IL40W非常灯 埋込 x 1

(財)埋蔵文化財センター調査研究員室 FL40Wx2(非)埋込 x 5
--

考古資料整理室 FL40Wx2(非)埋込 x 4

前室(11) IL40W非常灯 埋込 x 1

第二研修室 FL40Wx2(非)埋込 x 6

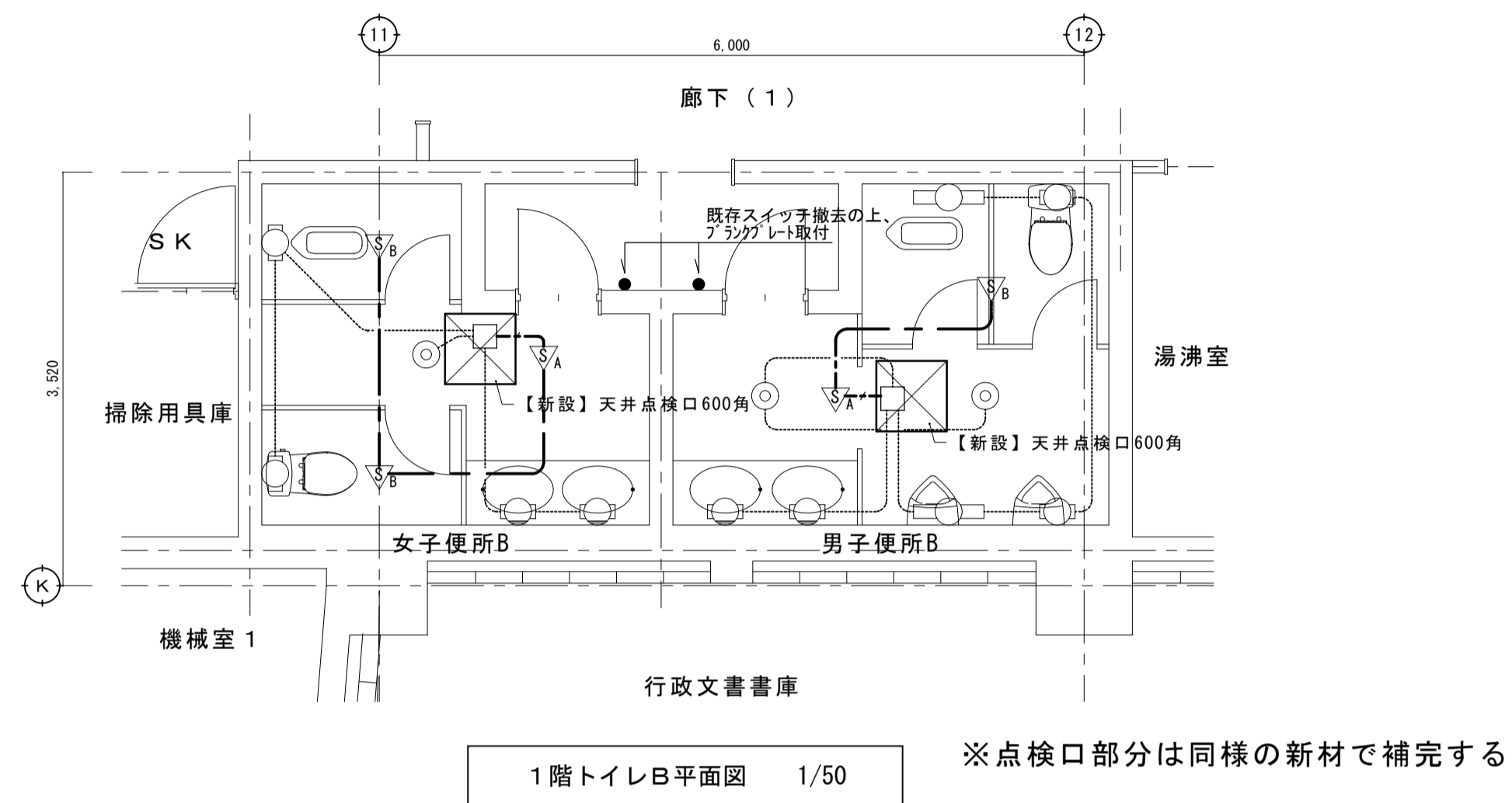
第一研修室 FL40Wx2(非)埋込 x 9

情報処理室 FL40Wx2(非)埋込 x 2

常設展示室 IL40W非常灯 直付 x 27 FL10W誘導灯 埋込 x 3 通路誘導灯 壁埋込 x 4 通路誘導灯 床埋込 x 4
--

外階段 FL40Wx1(誘)直付 x 2

女子便所B		男子便所B	
A21	x 4	A21	x 4
N13	x 1	A41	x 2
		N13	x 2

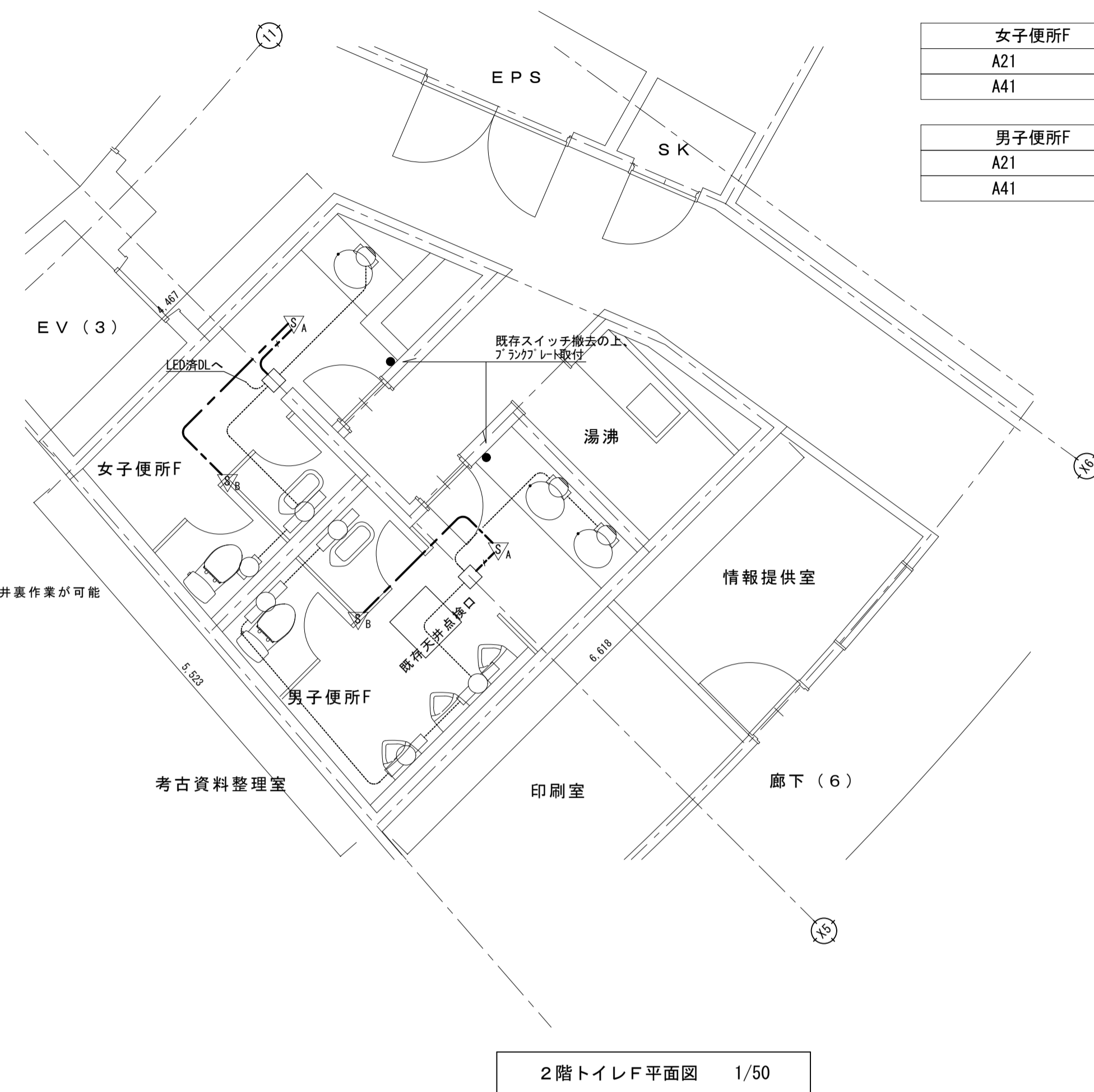


1階トイレB平面図 1/50

※点検口部分は同様の新材で補完する

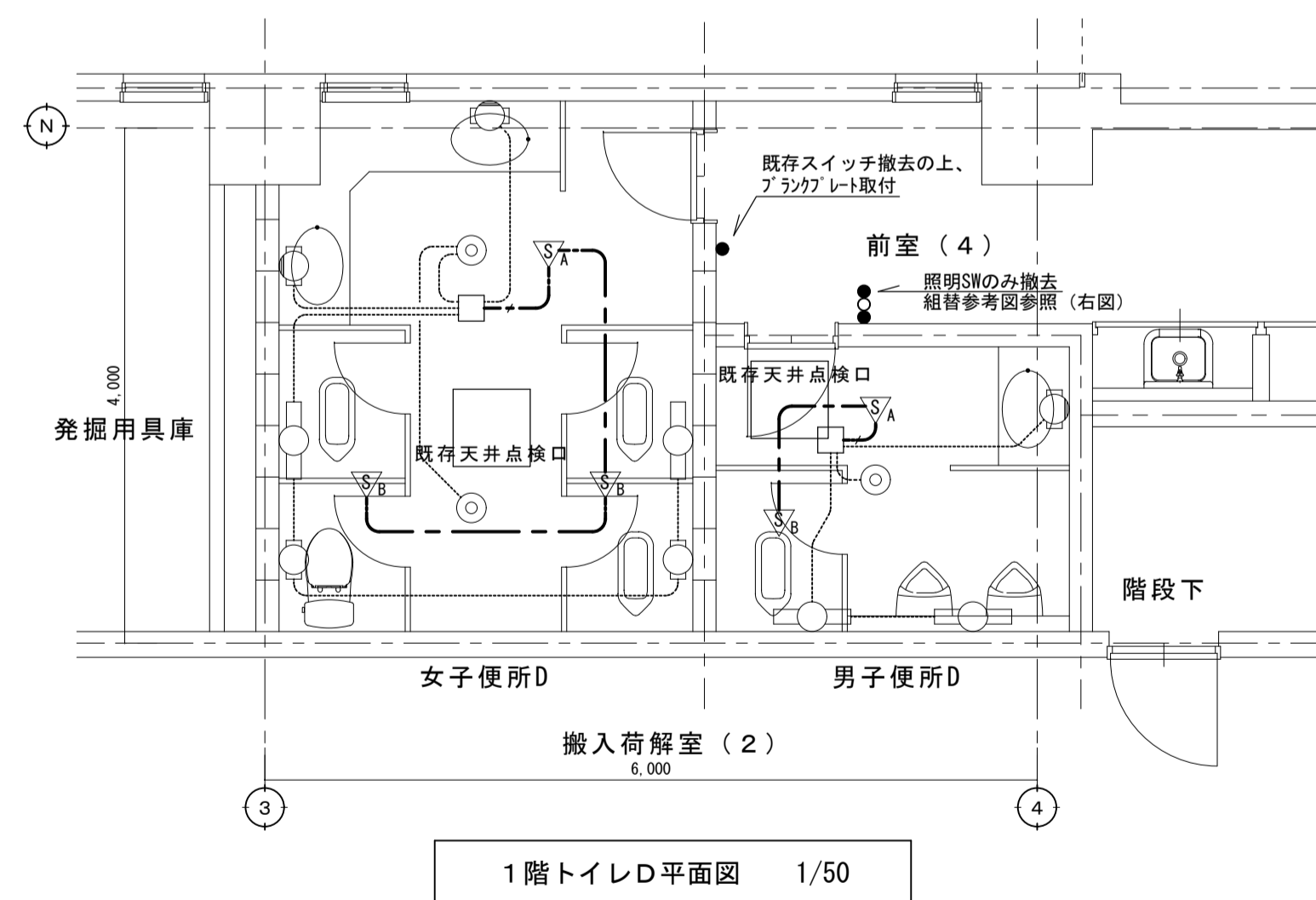
女子便所F	
A21	x 2
A41	x 1

男子便所F	
A21	x 2
A41	x 4



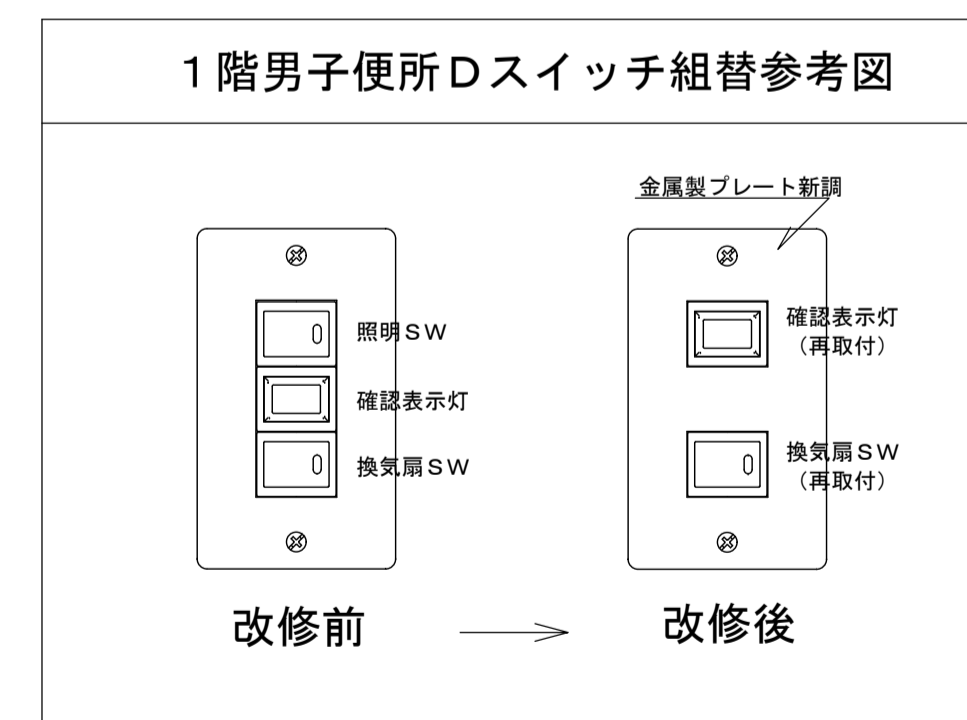
2階トイレF平面図 1/50

女子便所D		男子便所D	
A21	x 4	A21	x 1
A41	x 2	A41	x 2
N13	x 2	N13	x 1



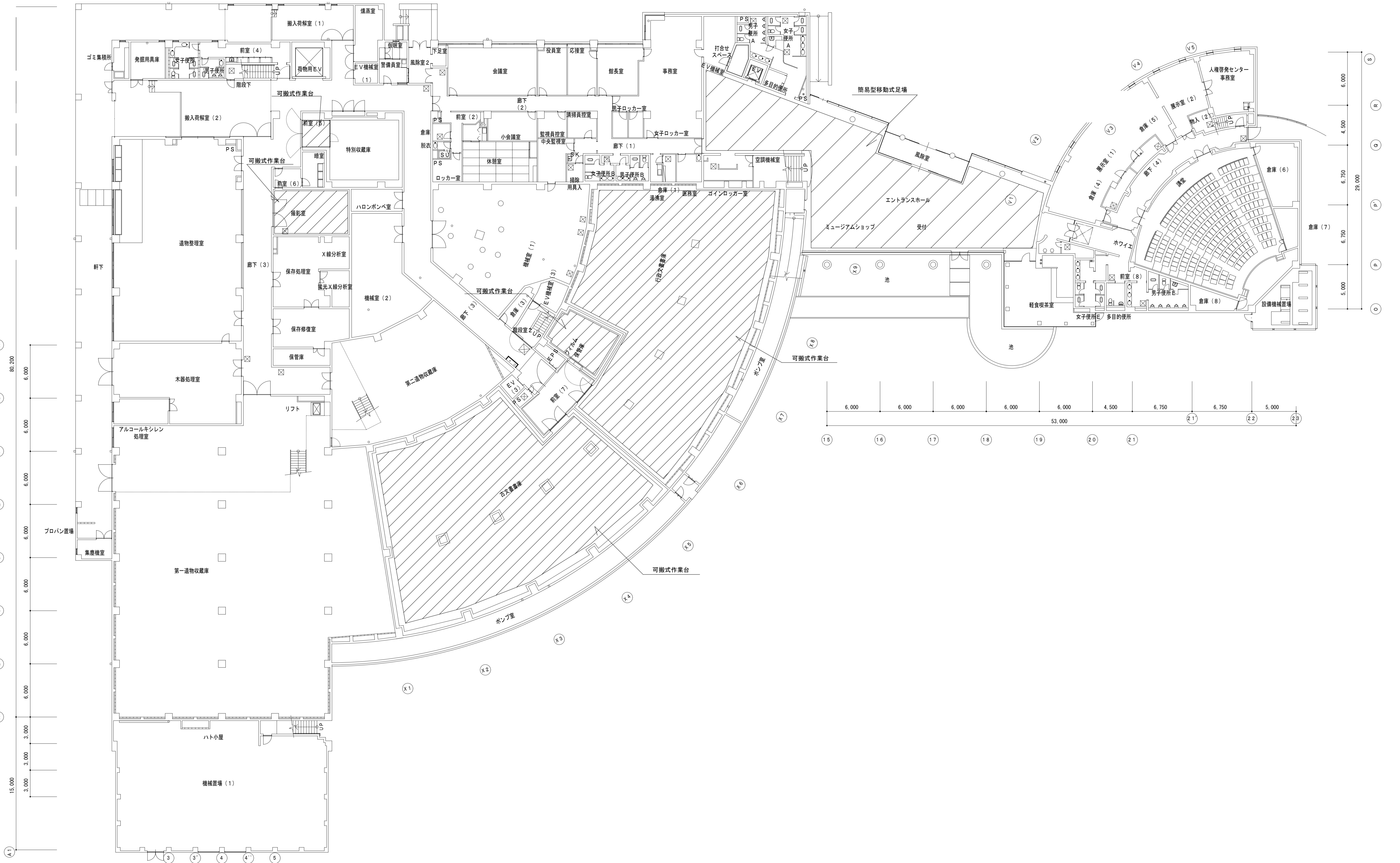
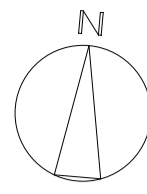
1階トイレD平面図 1/50

1階男子便所Dスイッチ組替参考図

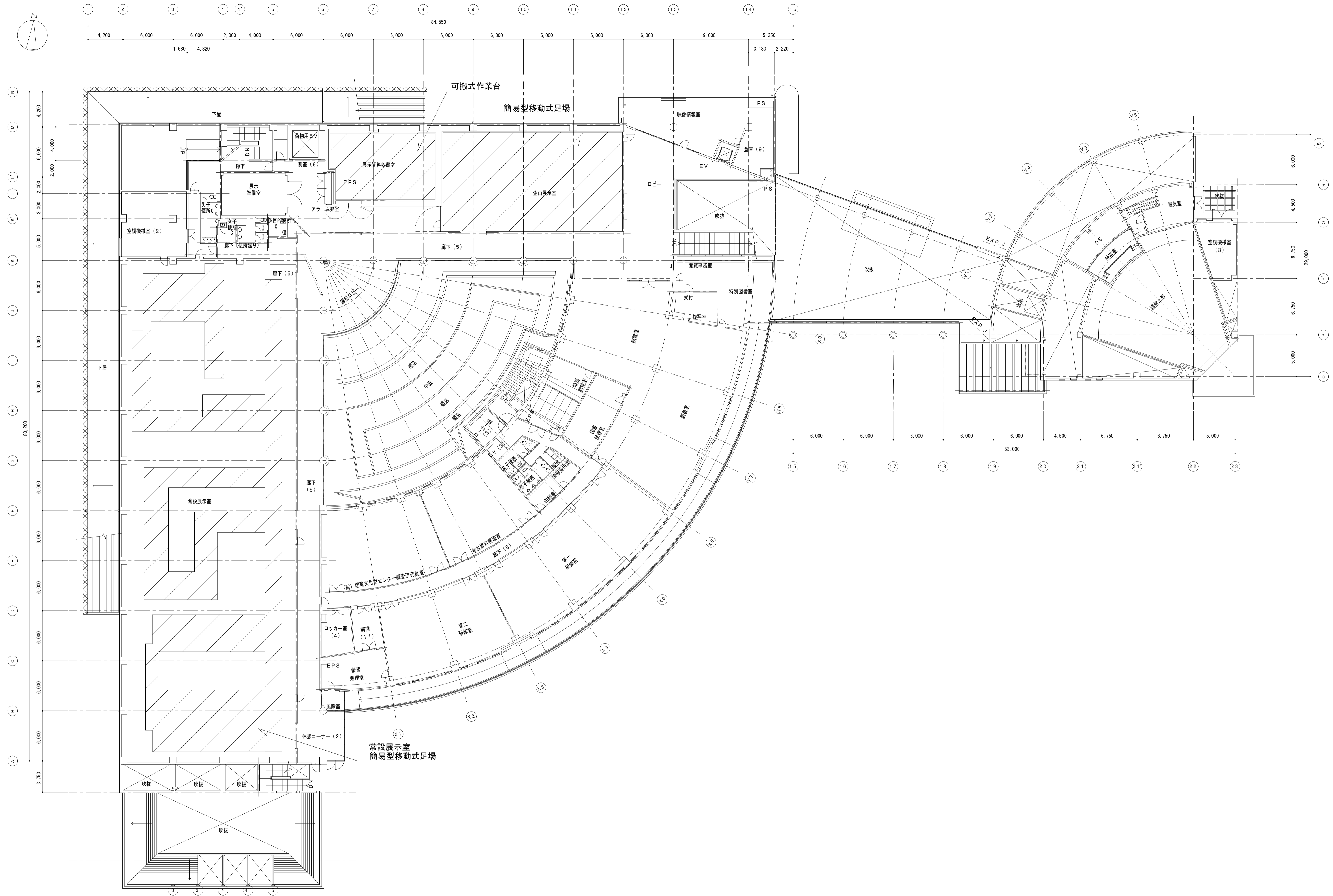
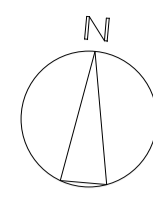


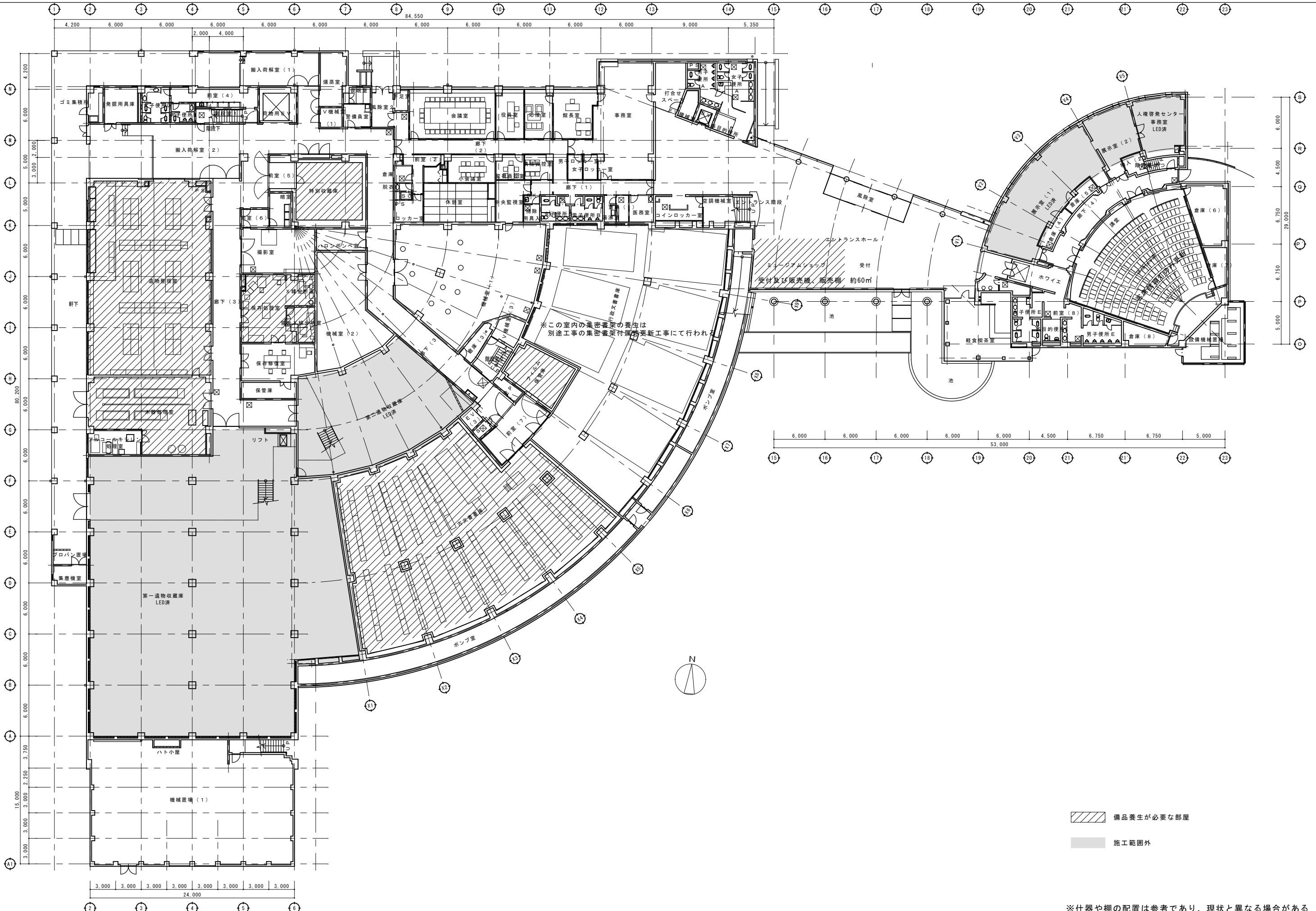
- [注記]
- 図中記入なき配線は下記による。
 - - - - - EM-E-E F 1. 6-2 C
 - - - - - EM-E-E F 1. 6-2 C x 2
 既存配管配線 (既存そのまま流用)
 - 天井内はケーブルこしがし配線とする。
 - 既設壁スイッチを撤去し、熱線センサ付自動スイッチで点滅を行う。
(換気扇は対象外)
- [凡例]
- ▽A 熱線センサ付自動スイッチ 機器(8 Aタイプ) 明るさセンサ付
 - ▽B 熱線センサ付自動スイッチ 子器
 - 既設位置ボックス

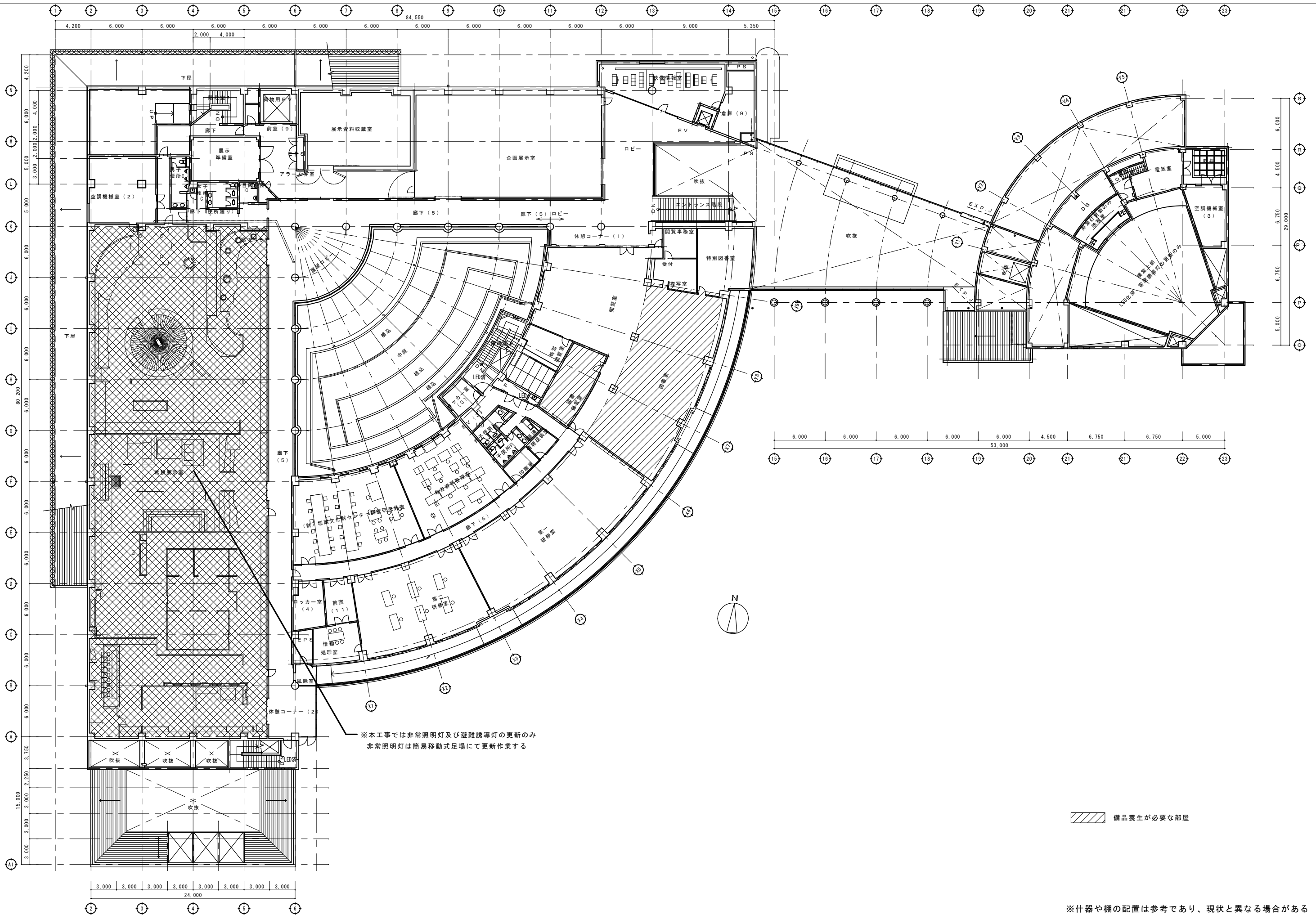
※新設照明器具はE-08、E-10の記載を転記している
 ※天井材がアスベスト含有材(みなし)のため、アスベスト配慮工事とする(ケイ酸カルシウム板)



JOB NAME	県立歴史館電灯設備改修工事	SCALE	A1: 1:200 A3: 1:400	PART	電気設備	DRAWN	
SHEET NAME	1階 足場・作業台 (参考図)	DATE	2026.03	NO	E-19	CHECKED	







※什器や棚の配置は参考であり、現状と異なる場合がある


 有限会社 N 設計 <small>ARCHITECT & INTERIOR</small>	長野県長野市篠ノ井二ツ堀1953-11 TEL 026-292-7833	1級 建築士事務所登録 (長野) F第74222号 管理建築士 1級 163958号 西澤 聖門	JOB NAME 県立歴史館電灯設備改修工事 SHEET NAME 2階仮設計画図 (参考図)	SCALE A1: 1:200 A3: 1:400 DATE 2026.03	PART 電気設備 NO E-22	DRAWN CHECKED
	長野県長野市篠ノ井二ツ堀1953-11 TEL 026-292-7833 1級 建築士事務所登録 (長野) F第74222号 管理建築士 1級 163958号 西澤 聖門					

Table with 5 columns: 階数, 室名, 仕上, 天井, CH, 備考. It lists various rooms and their specifications for the existing building.

Table with 5 columns: 階数, 室名, 仕上, 天井, CH, 備考. It lists various rooms and their specifications for the existing building, including detailed material and construction notes.

Table with 5 columns: 階数, 室名, 仕上, 天井, CH, 備考. It lists various rooms and their specifications for the existing building, including detailed material and construction notes.